

公開第13回
かながわ乳がん市民フォーラム
事前アンケート結果

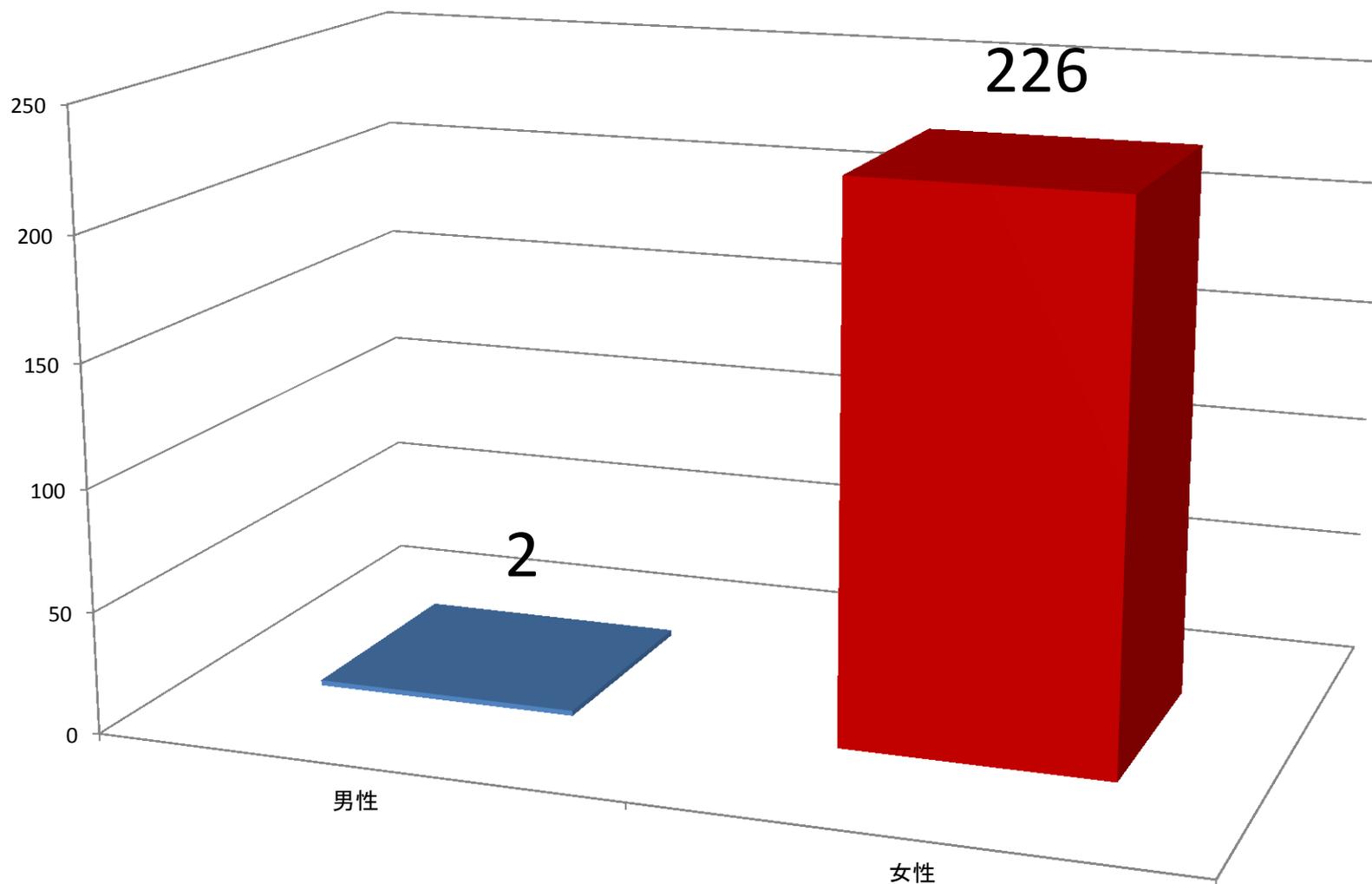
【フルバージョン】

有効回答数 231名

※グラフ中の数字は実数です(一部複数回答あり)

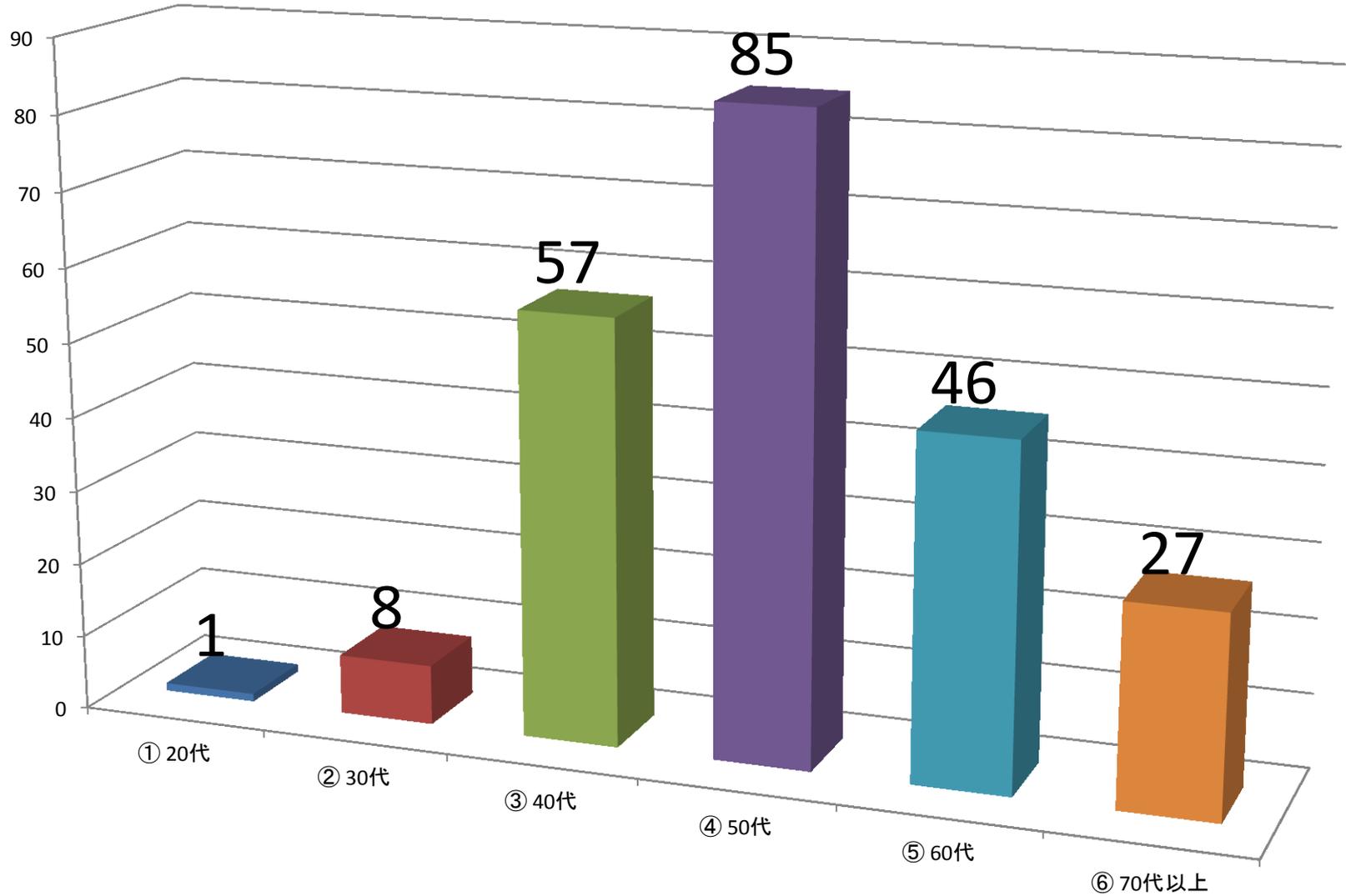
性別

■ 男性 ■ 女性



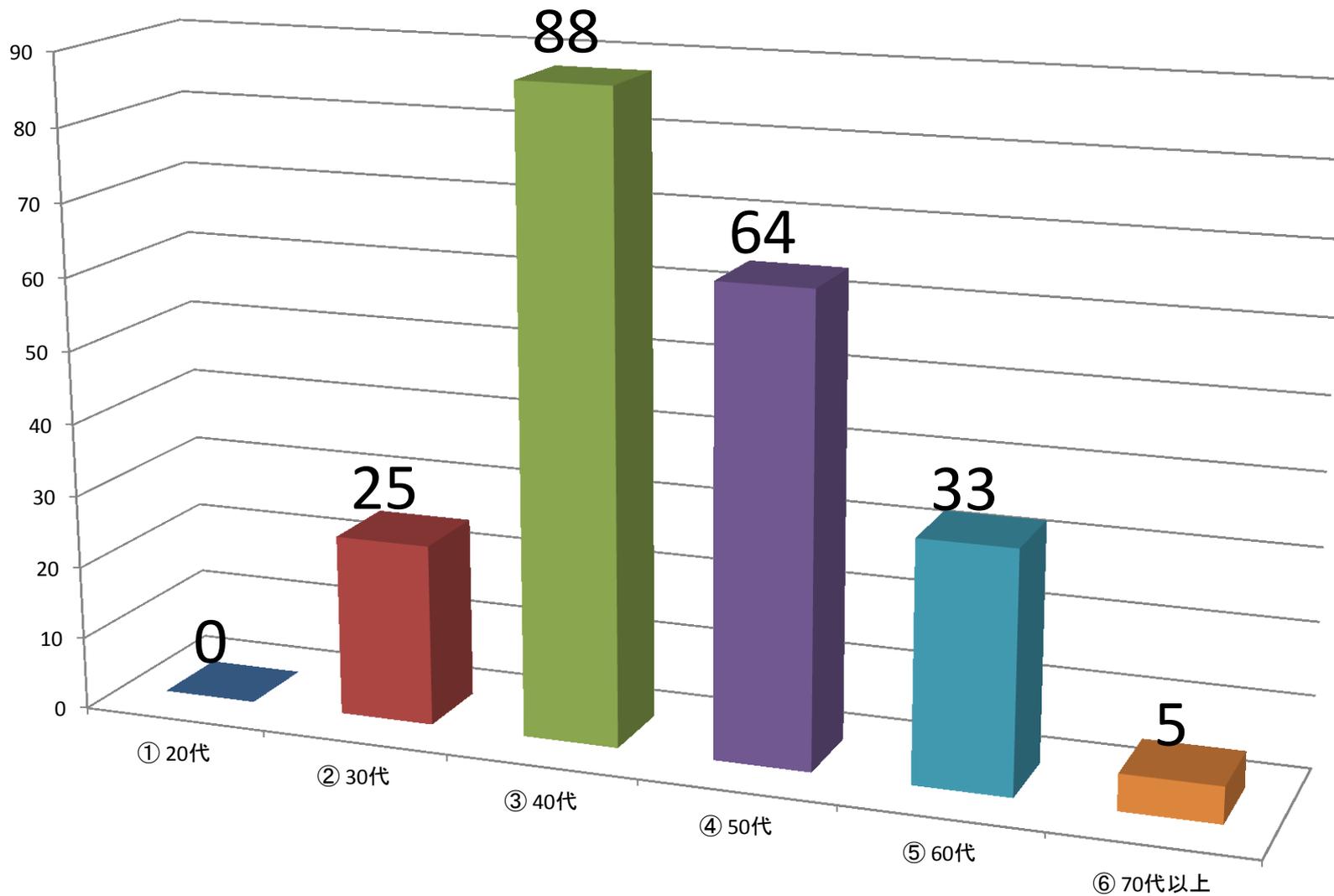
現在の年齢

■ ① 20代 ■ ② 30代 ■ ③ 40代 ■ ④ 50代 ■ ⑤ 60代 ■ ⑥ 70代以上



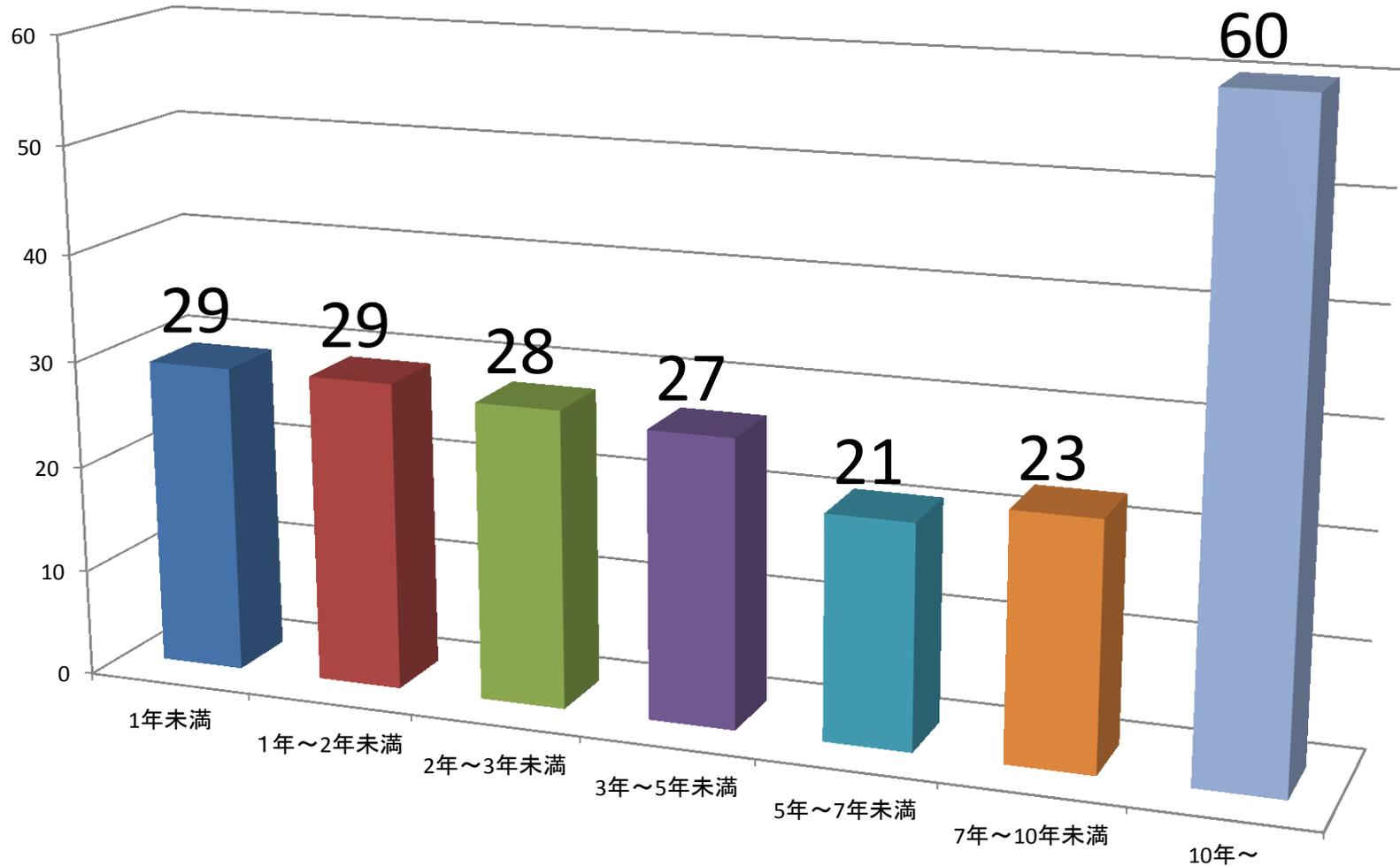
乳がんと診断された時の年齢

■ ① 20代 ■ ② 30代 ■ ③ 40代 ■ ④ 50代 ■ ⑤ 60代 ■ ⑥ 70代以上



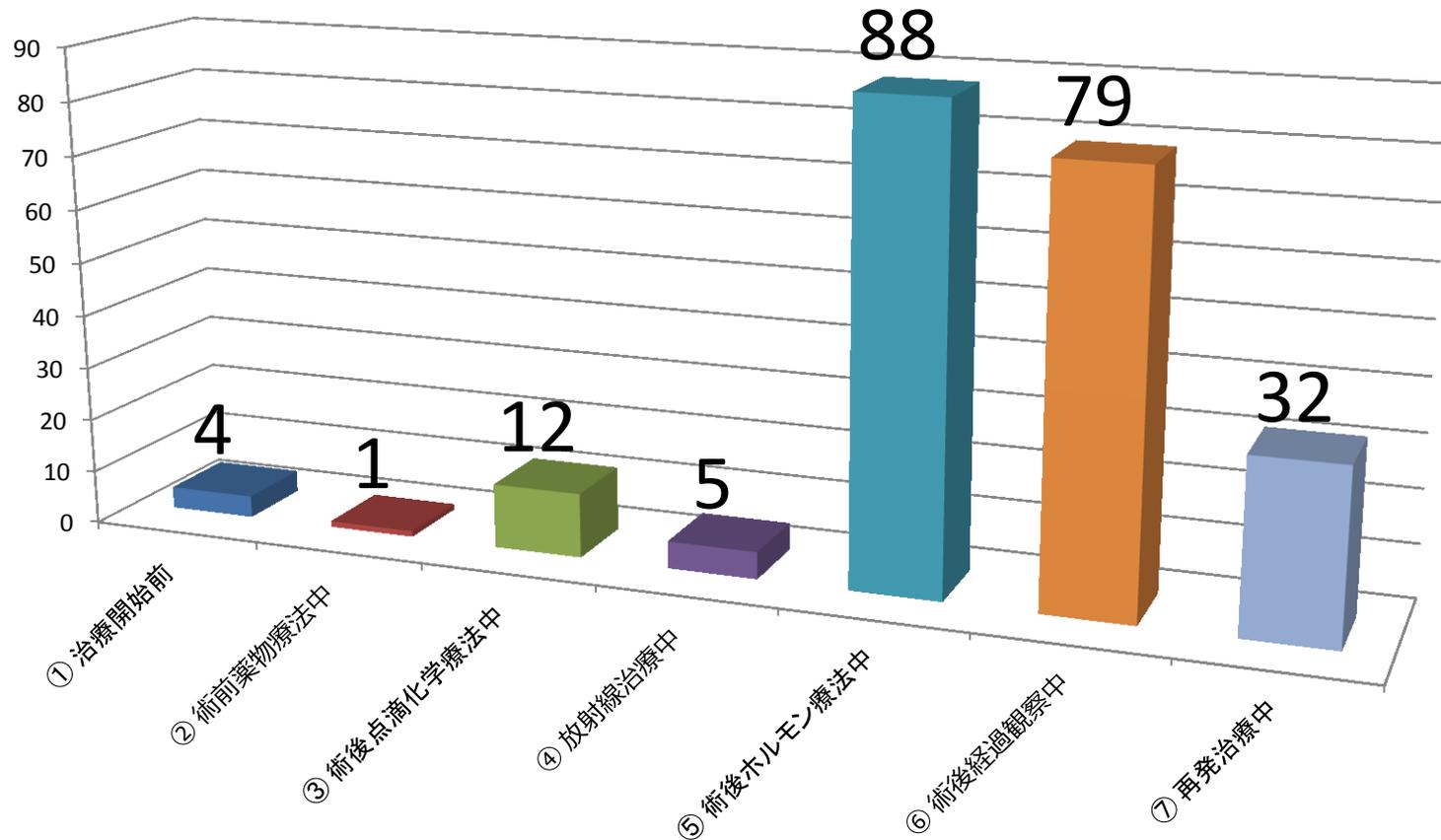
診断から現在までの経過年数

- 1年未満
- 1年～2年未満
- 2年～3年未満
- 3年～5年未満
- 5年～7年未満
- 7年～10年未満
- 10年～



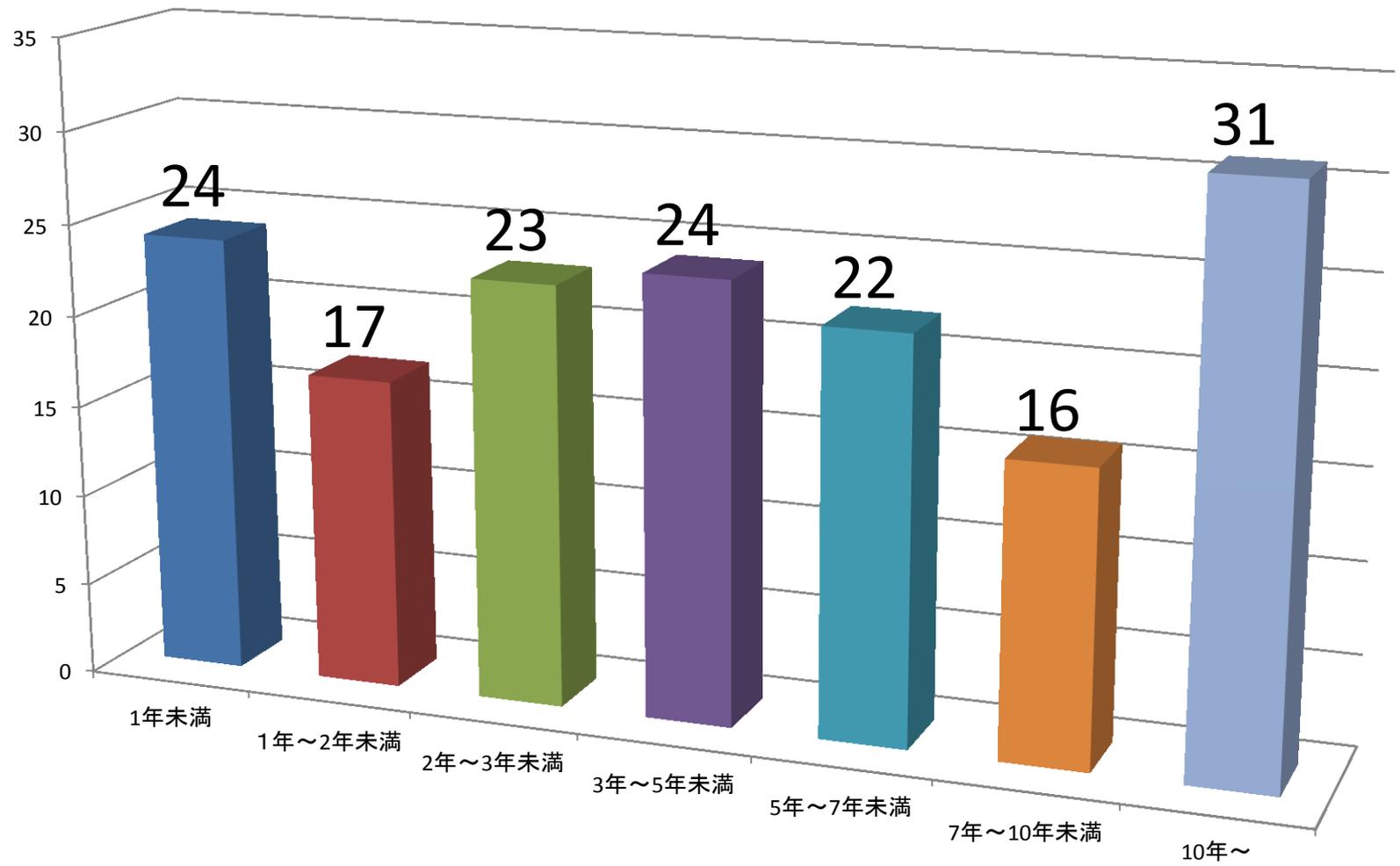
あなたの現状を教えてください

- ① 治療開始前
- ② 術前薬物療法中
- ③ 術後点滴化学療法中
- ④ 放射線治療中
- ⑤ 術後ホルモン療法中
- ⑥ 術後経過観察中
- ⑦ 再発治療中



術後何年目ですか？

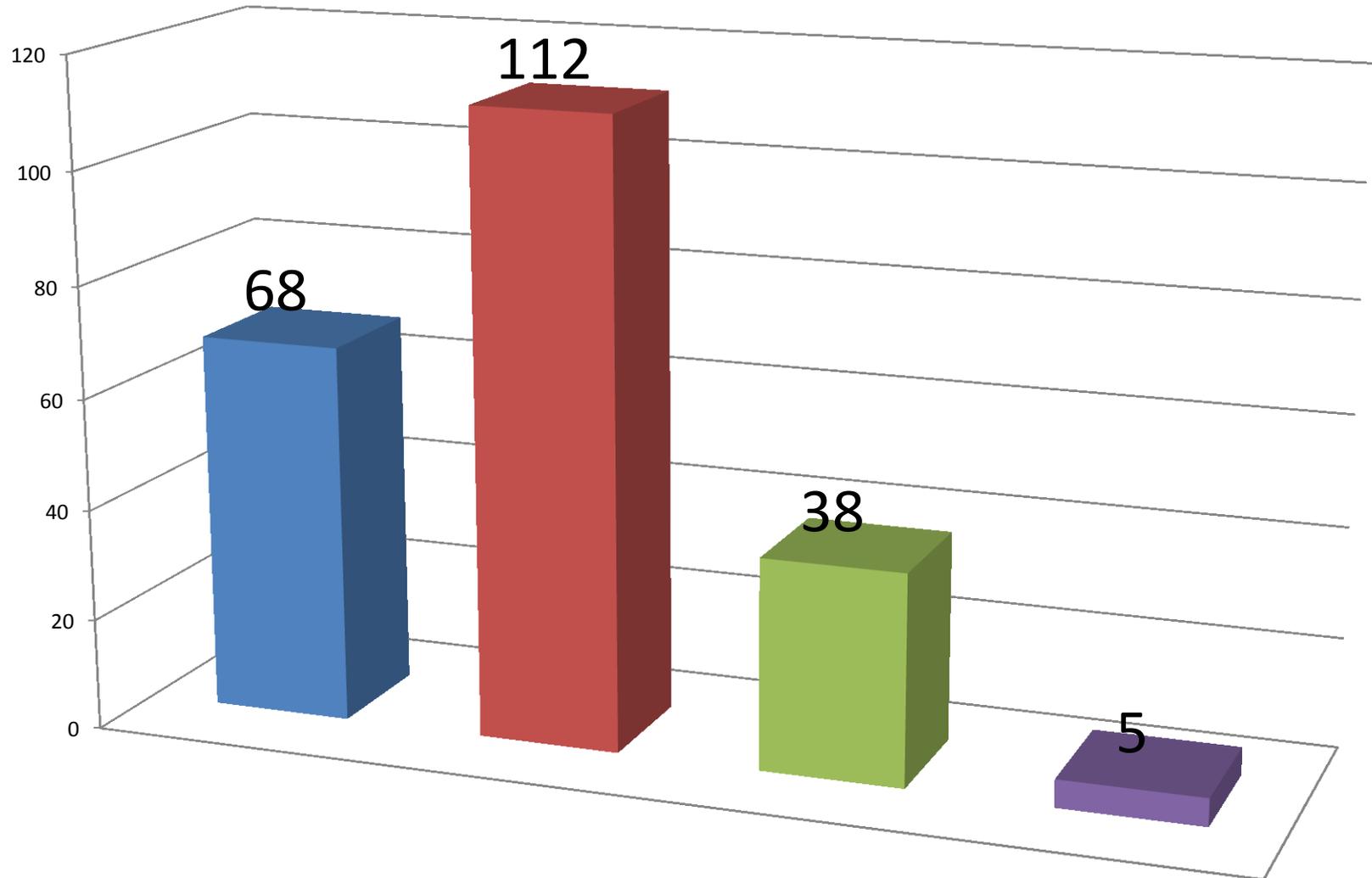
- 1年未満
- 1年～2年未満
- 2年～3年未満
- 3年～5年未満
- 5年～7年未満
- 7年～10年未満
- 10年～



【告知】

問1-1 がんであると医師に告げられる前に

- ① がんであるとは少しも思っていなかった。
- ② なんとなくがんではないかと思った。
- ③ がんに間違いはないと思っていた。
- ④ その他

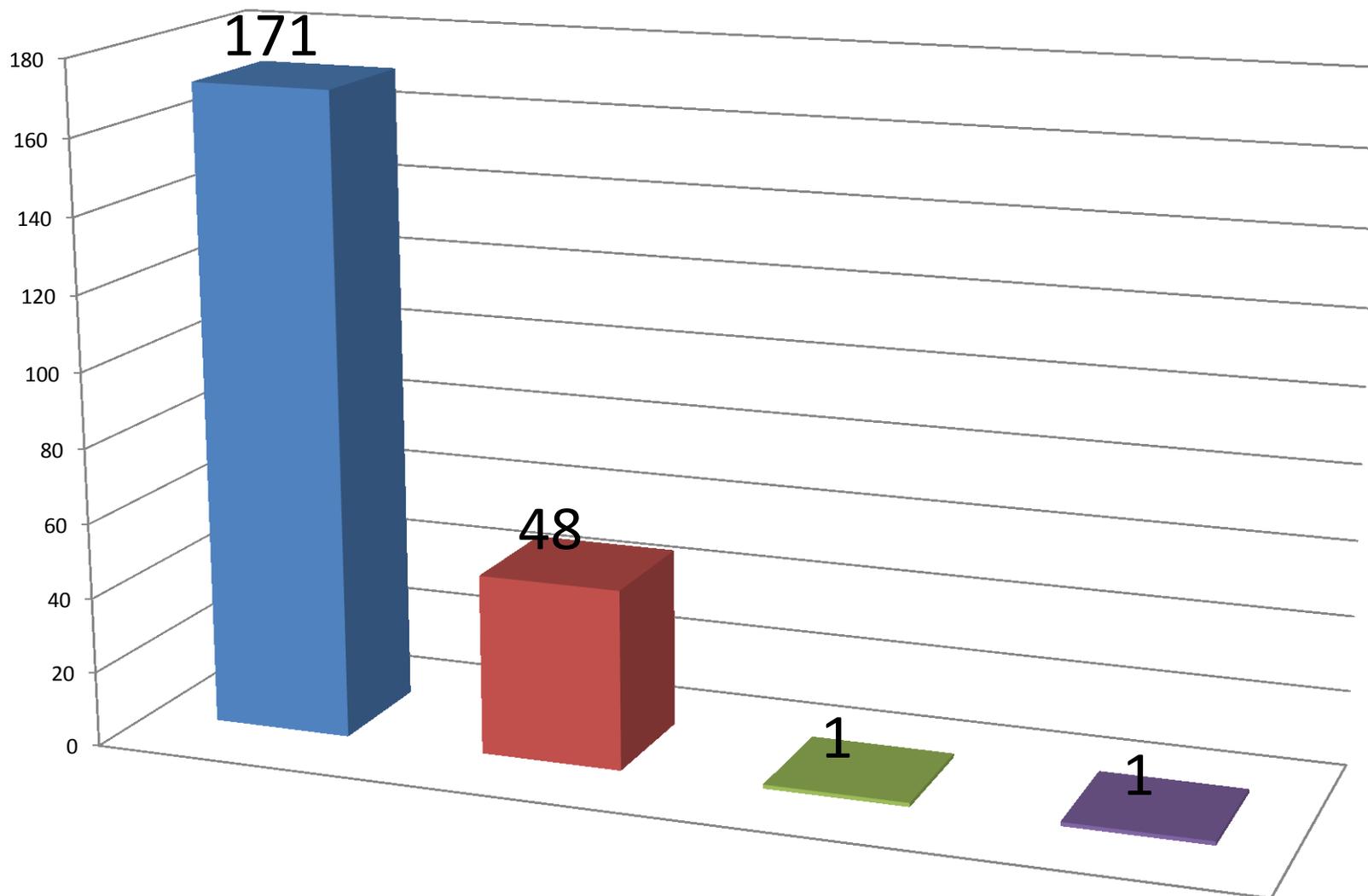


問1-2 問1-1で、④その他と回答された方に伺います。
その内容をご回答ください。

- しこりを見つけてがんではないかと心配になり病院に行き、エコー・マンモ・MRI検査で良性で乳腺繊維腺腫と診断を受けました。その3か月後に良性腫瘍を切除してもらうために日帰り手術を行い、念のため顕微鏡検査をしたら悪性腫瘍と判明しました。最初にしこりを見つけた時はがんかもしれないと思いましたが、良性という診断が出てそれを信じていたためその後はがんであるとは思っていませんでした。
- がんではないかと思いがかすめたことは否めないが、恐ろしくてまた自分がまさかと打ち消そうとしていました
- 自分が、乳がんになるとは思ってなかった。毎年検診を受け異常なしなかった。たまたま前年が忙しく検診に行かなかった。最期の検診から1年4ヶ月で2.2センチのシコリができていた。
- 線維腺腫の切除の予定が、術中迅速細胞診でがんが確定し、急遽乳房全摘、リンパ郭清手術になった。

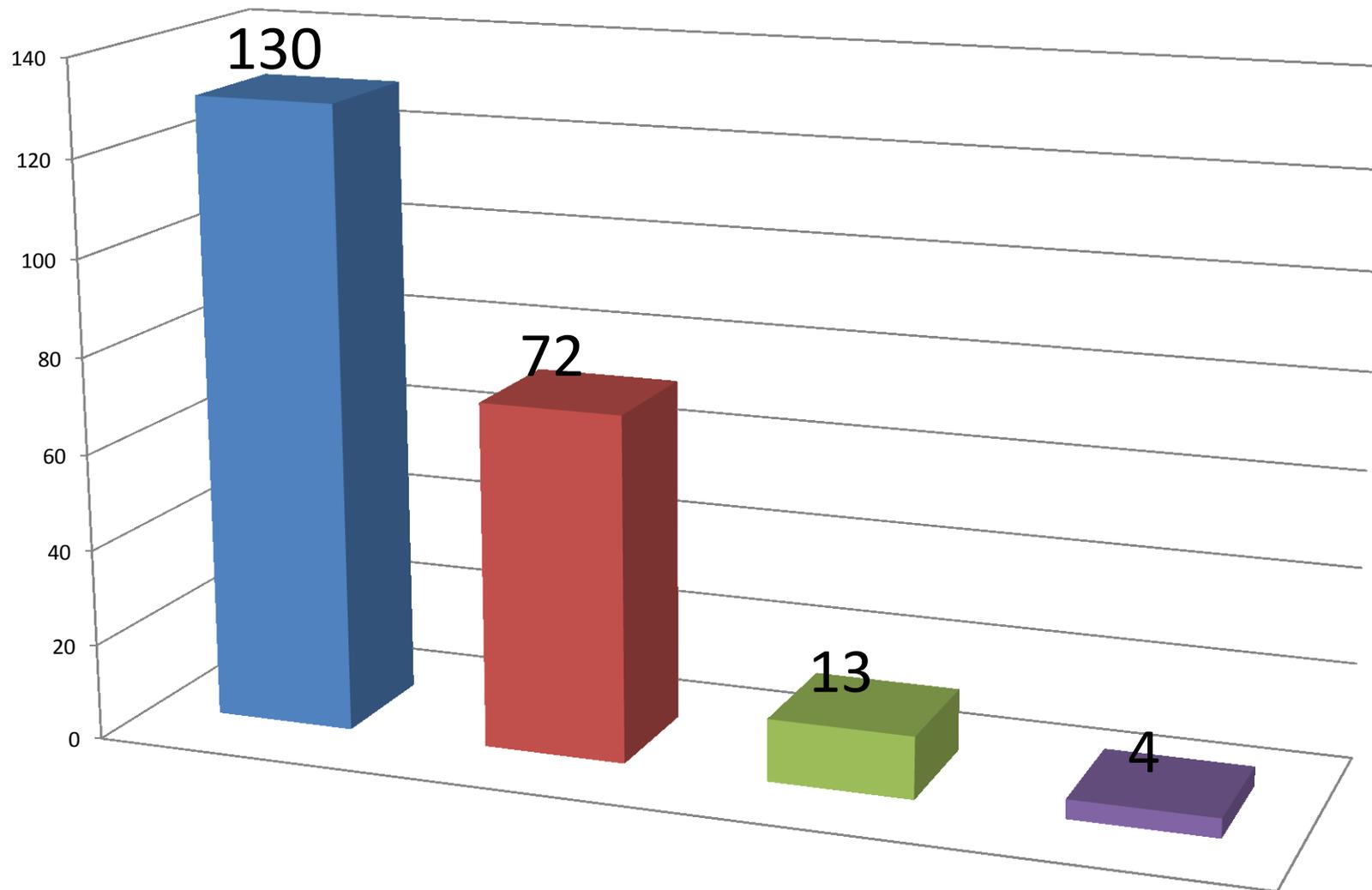
問2-1 がんの告知は？

- ① 自分が一人で聞いた。
- ② 家族もしくは友人と一緒に聞いた。
- ③ 先に家族が聞いて、後から教えてもらった。
- ④ その他



問3 告知の時、医師の話、告知の内容をあなたは？

- ① よく理解できた。
- ② 少ししか理解できなかった。
- ③ ほとんど理解できなかった。
- ④ 全く覚えていない。

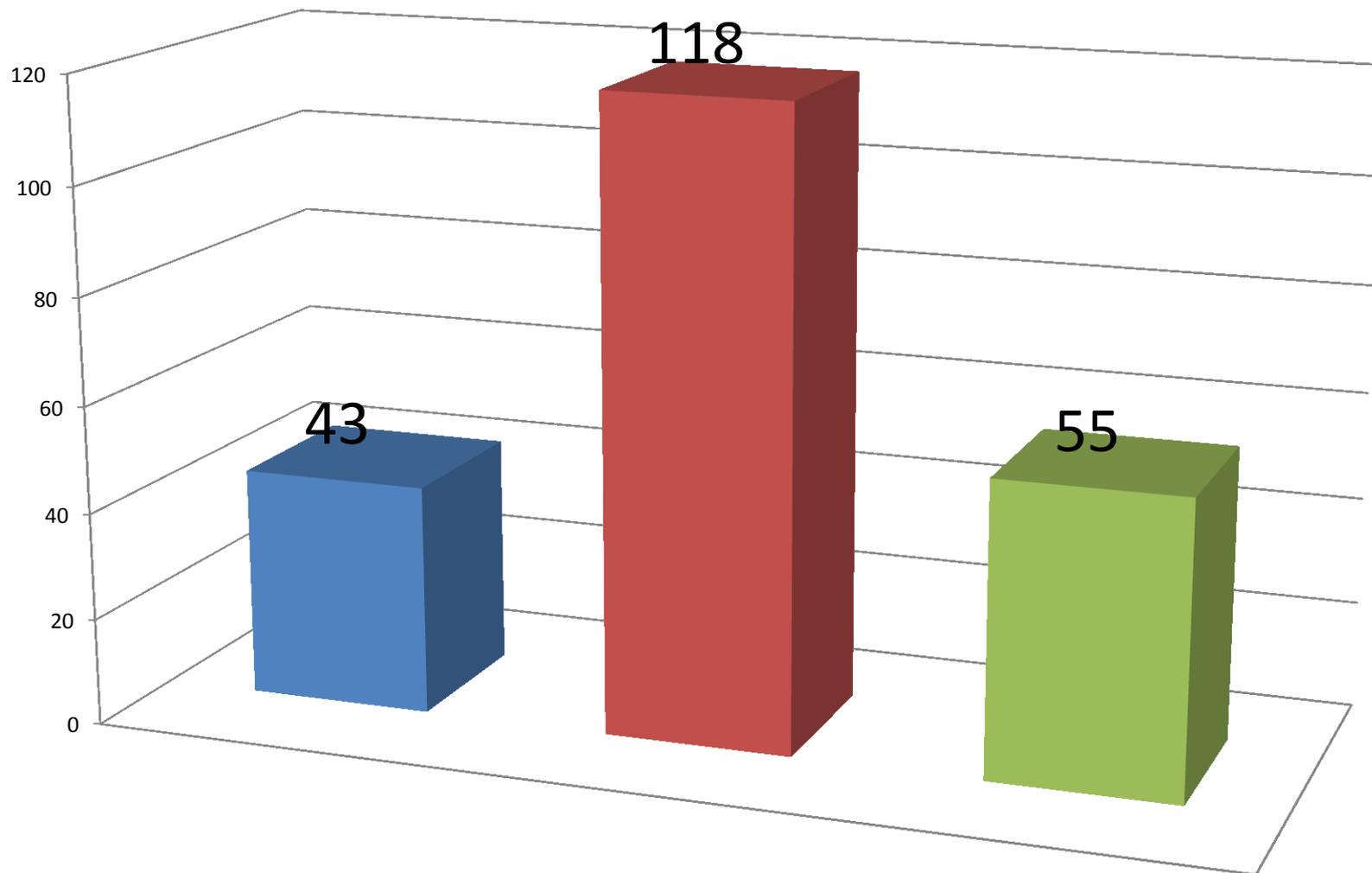


問4 告知の時、医師に色々質問できましたか？

■ ① 納得いくまで質問した。

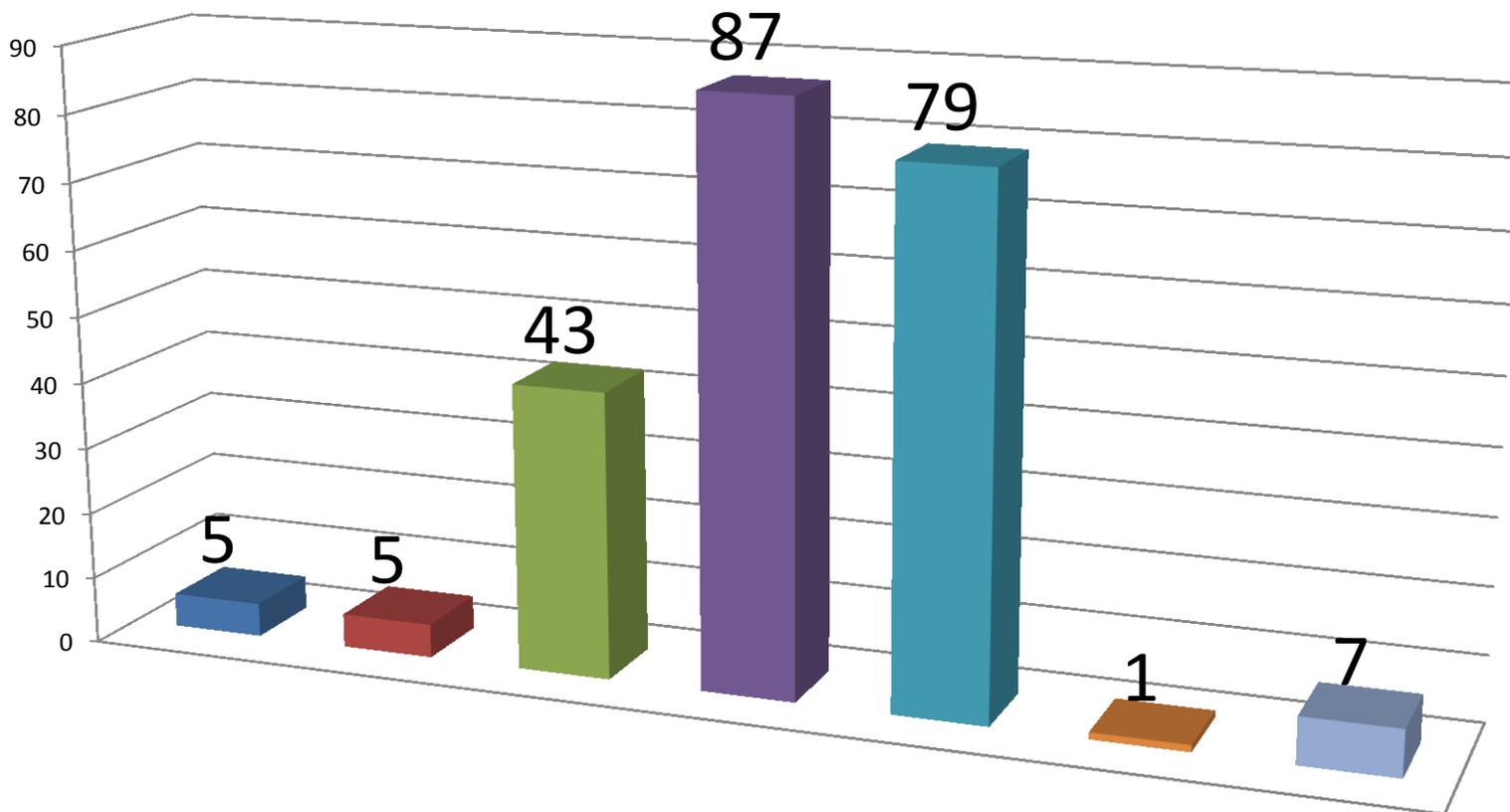
■ ② 少しだけ質問できたが、不十分だった。

■ ③ 全く質問できなかった。



問5-1 告知の時、あなたはどのように思いましたか？

- ① 絶対がんであるはずは無い。何かの間違いだと思った。
- ② まだ検査が不十分で、もう少し検査をしてもらいたいと思った。
- ③ 検査は十分したのでがんであることは間違いなかったが、信じられない気持ちだった。
- ④ 説明を聞いてがんであることを受け入れざるを得なかったと思った。
- ⑤ ある程度は覚悟していたのですんなり受け入れた。
- ⑥ 全く覚えていない。
- ⑦ その他

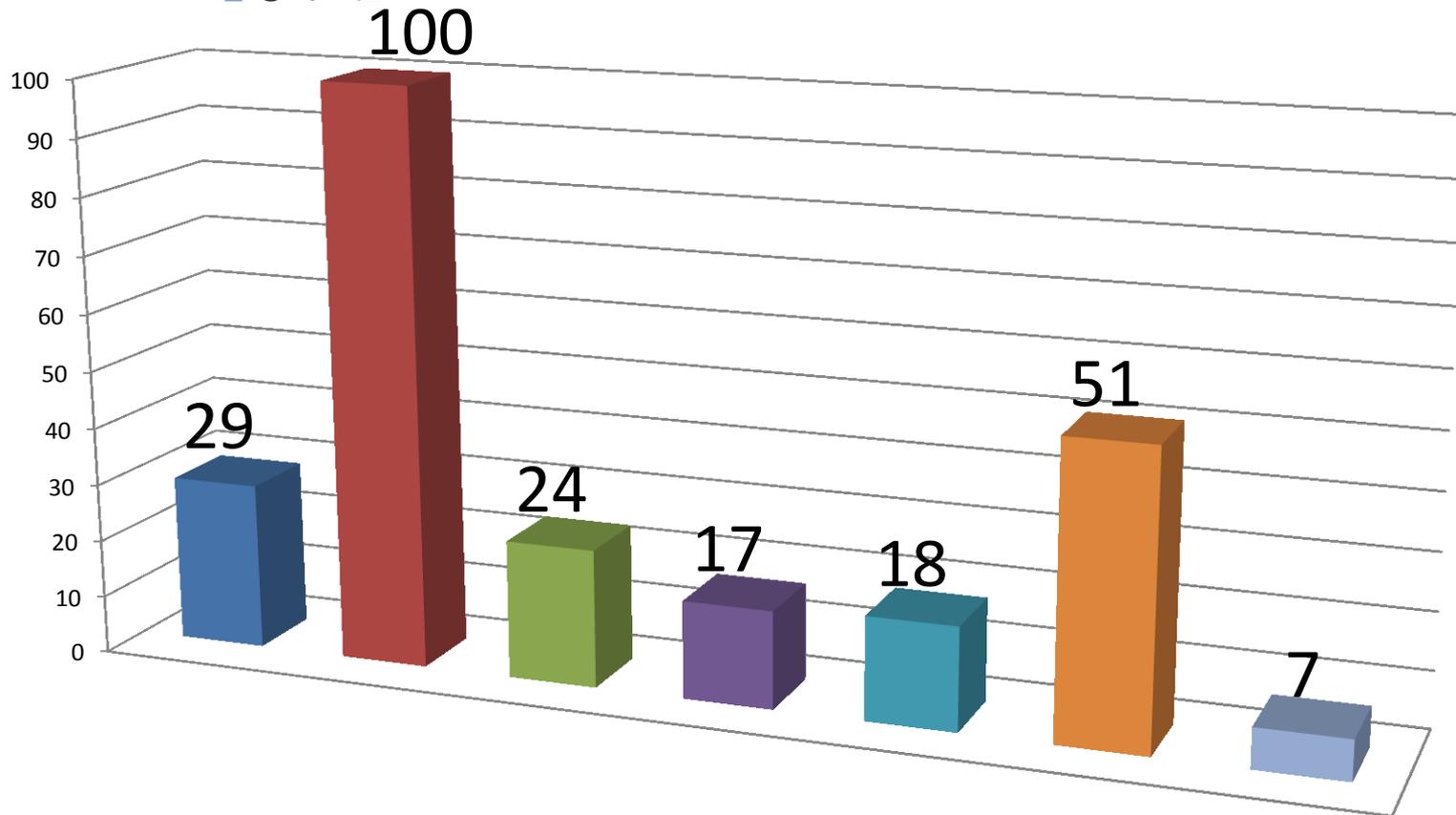


問5-2 問5-1で、⑦その他と回答された方に質問です。
その内容をご回答ください。

- 先生からはっきり言われるまでは違うことを願っていましたが、がんですと言われ
てからはすんなり受け入れました。しかし、とても不安で未知の世界なので どの
ような手術・治療になるかを早く知りたいと思いました。
- 医学的にがんであることは間違いないとは思ったが「信じられない」よりも事実を
受け入れることがまったくできなかつた。ずっと泣いていた。
- 「死」しか思い浮かばなかつた。
- ある程度は覚悟していましたが、すんなり受け入れる事は出来ませんでした。
- なんとも思わなかつた。そうなんだ~と思ったことくらいしか覚えていない。ただ死
ぬのか死なないのかだけ知りたかつた。
- この先生でいいのかと迷った。
- これは本当に自分の検査結果か。だれかと間違っていないかと思った。

問6-1 告知されてから治療を決定するにあたって

- ① セカンドオピニオンを受けた。
- ② 本、インターネット、知人の体験談など積極的にがんに関する情報を集めた。
- ③ 医師に時間をとってもらって何回か説明を受けた。
- ④ 家族には相談したが、それ以外には情報は集めなかった。
- ⑤何かしなければとは思ったが全く何も出来なかった。
- ⑥ 医師に全て任せたので何もしなかった。
- ⑦ その他



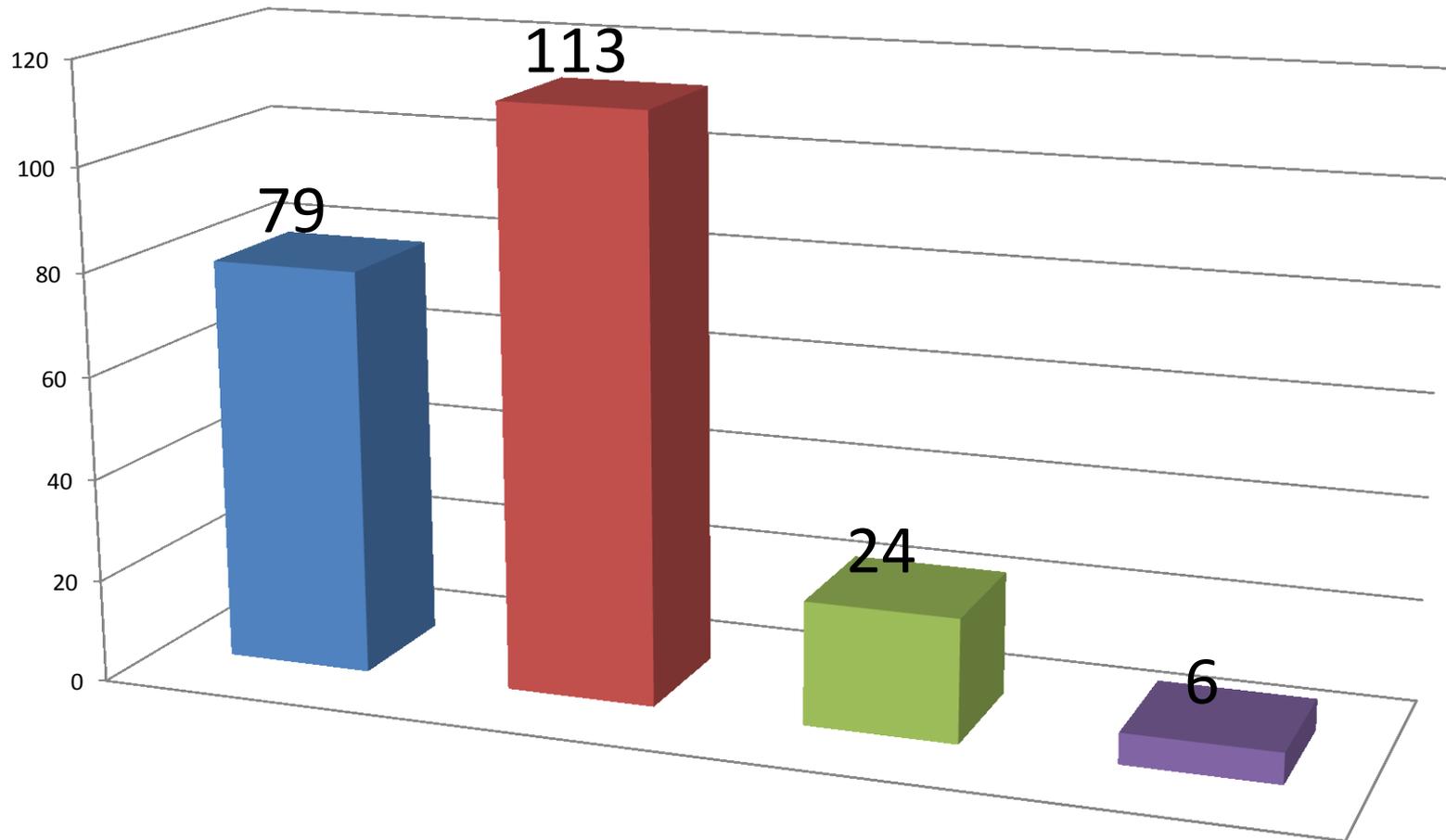
問6-2 問6-1で⑦その他と回答された方に質問です。
その内容を回答ください。

- 告知後からすぐ情報集めを先行させて、最後の治療決定ではセカンドオピニオンも受けた。
- そこでは手術できないので他を紹介してくれた。
- あけぼの会で手術をする病院を聞いた。
- すごく落ち込んで色々考えたり聞いたりしたが、医師の話を受け入れて決めるしかないと思った。
- ともかくガン細胞を切除しなければと思った。
- 5～6ミリのしこりなので全摘出との事で納得できない気持ちだった。
- 命と引き換えの病気と思いすぐにOK。自分で仕方ないと思った。

【手術】

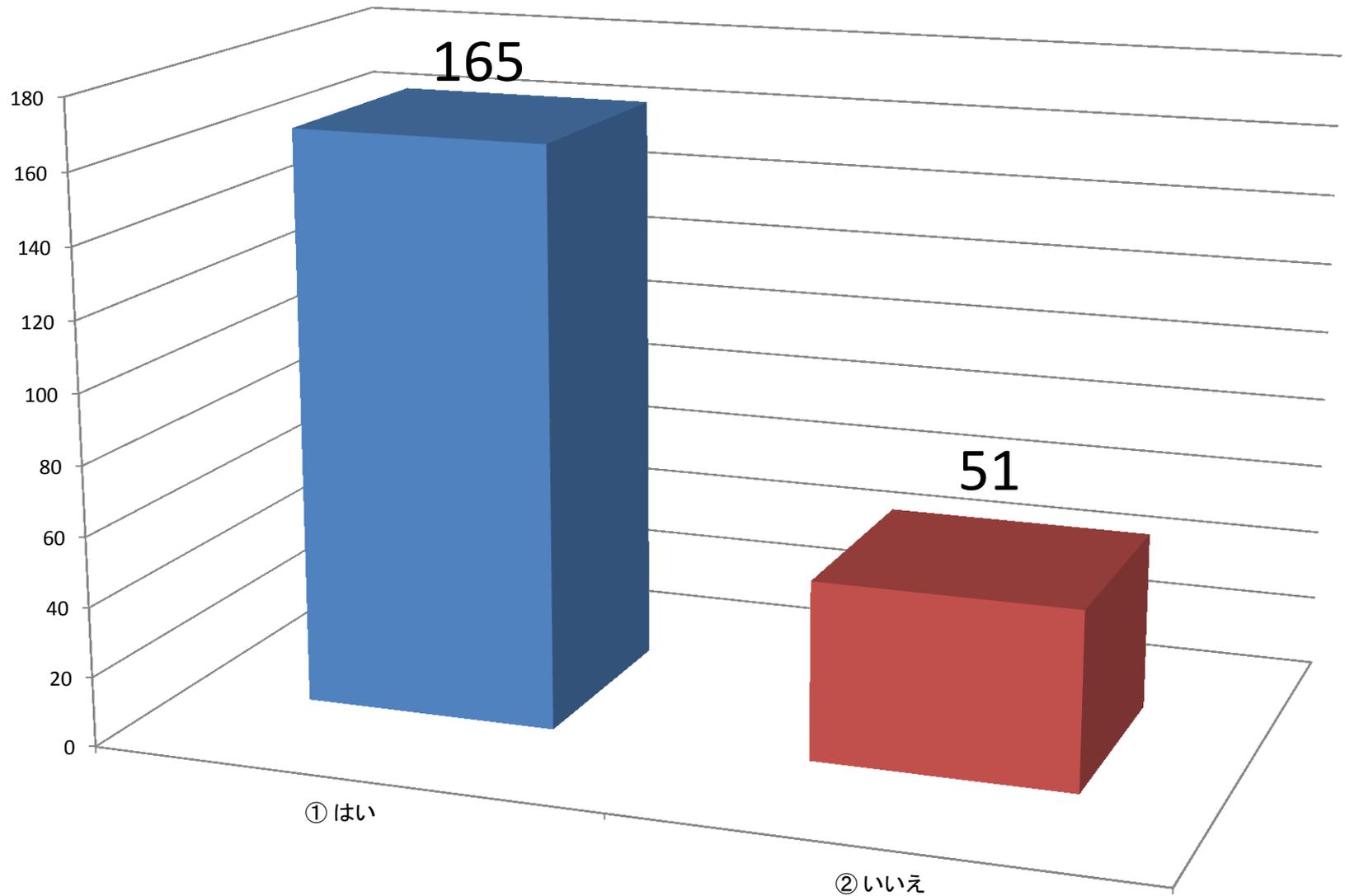
問7-1 受けた手術は？

- ① 乳房切除術
- ② 乳房温存療法
- ③ 乳房切除または皮下乳腺全摘と再建術(2期的再建も含む)
- ④ その他



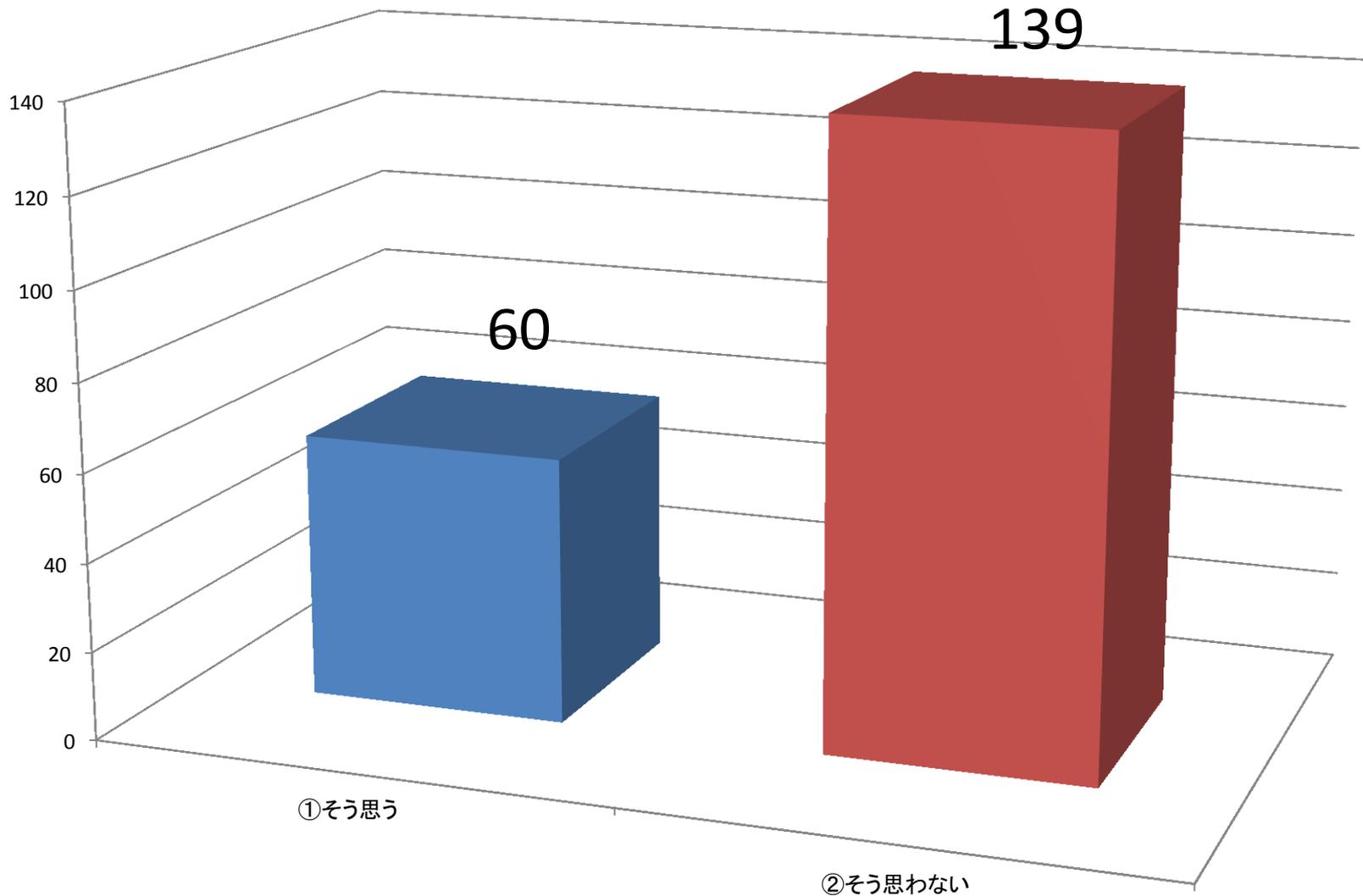
問8 乳房温存や再建も可能だと医師から聞きましたか？

■ ① はい ■ ② いいえ



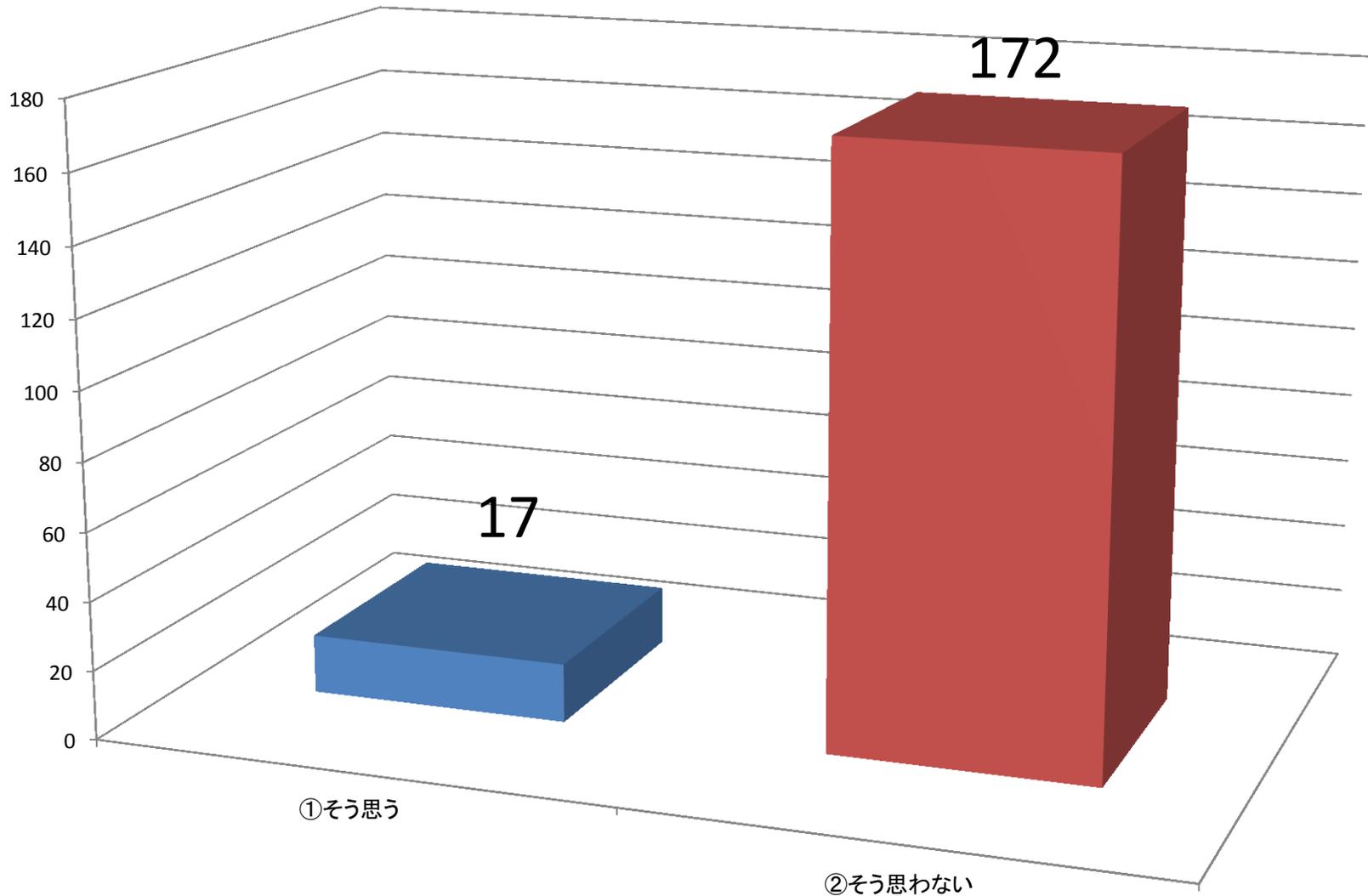
問9① 乳房切除した方が長生きをしますか？

■ ①そう思う ■ ②そう思わない



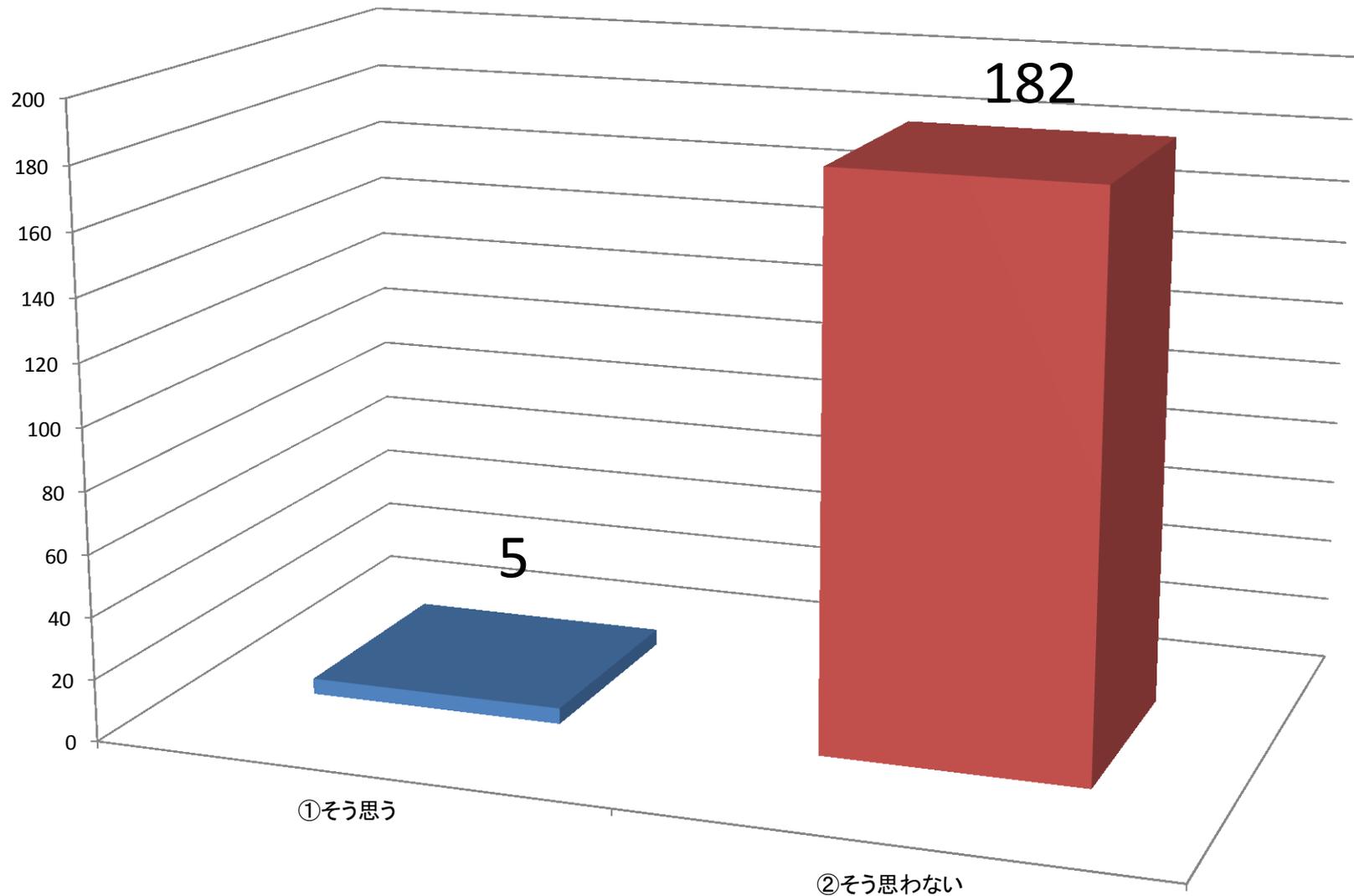
問9② 乳房再建の方が治療成績が悪いと思いますか？

■ ①そう思う ■ ②そう思わない



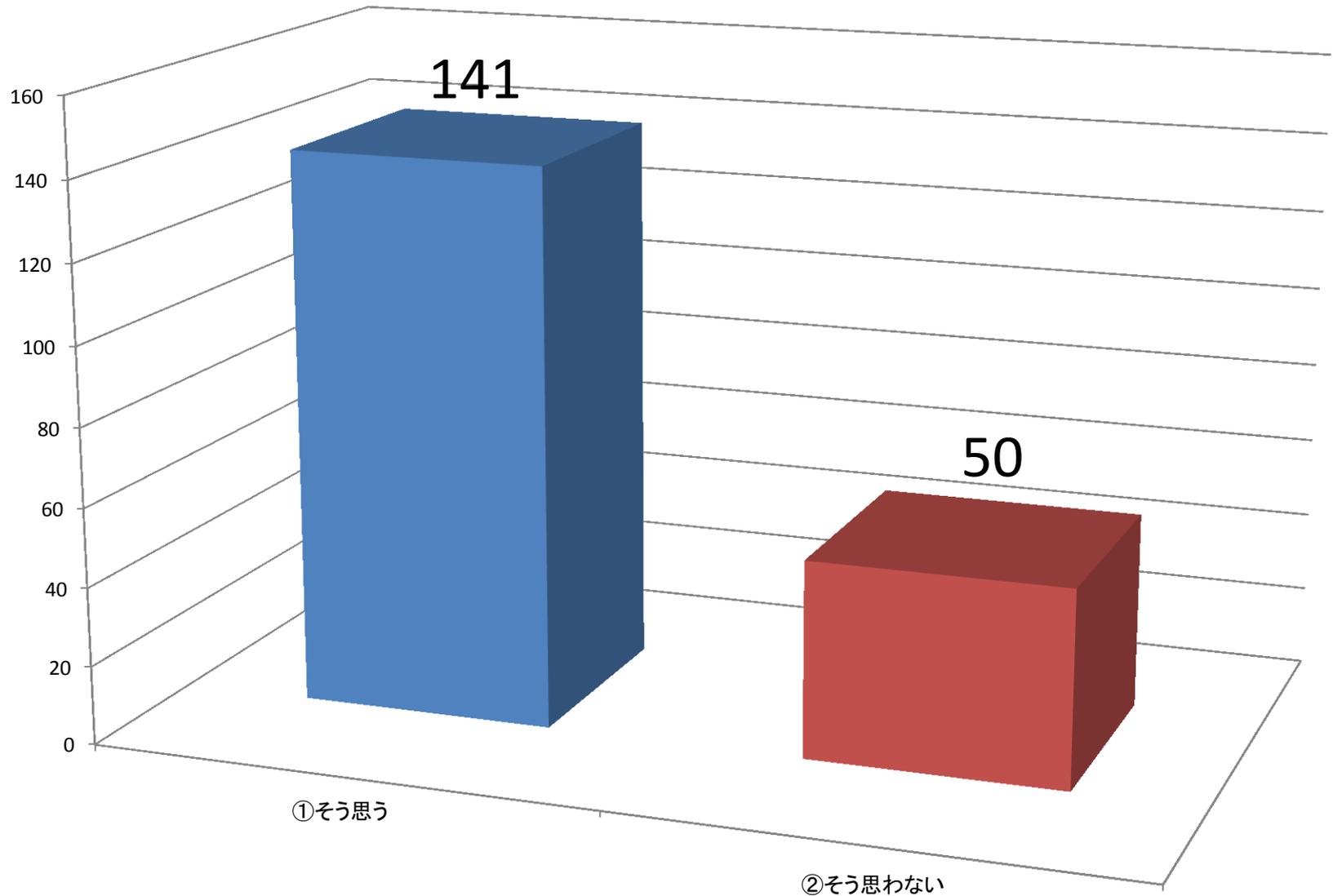
問9③ 乳房温存の方が長生きすると思いますか？

■ ①そう思う ■ ②そう思わない



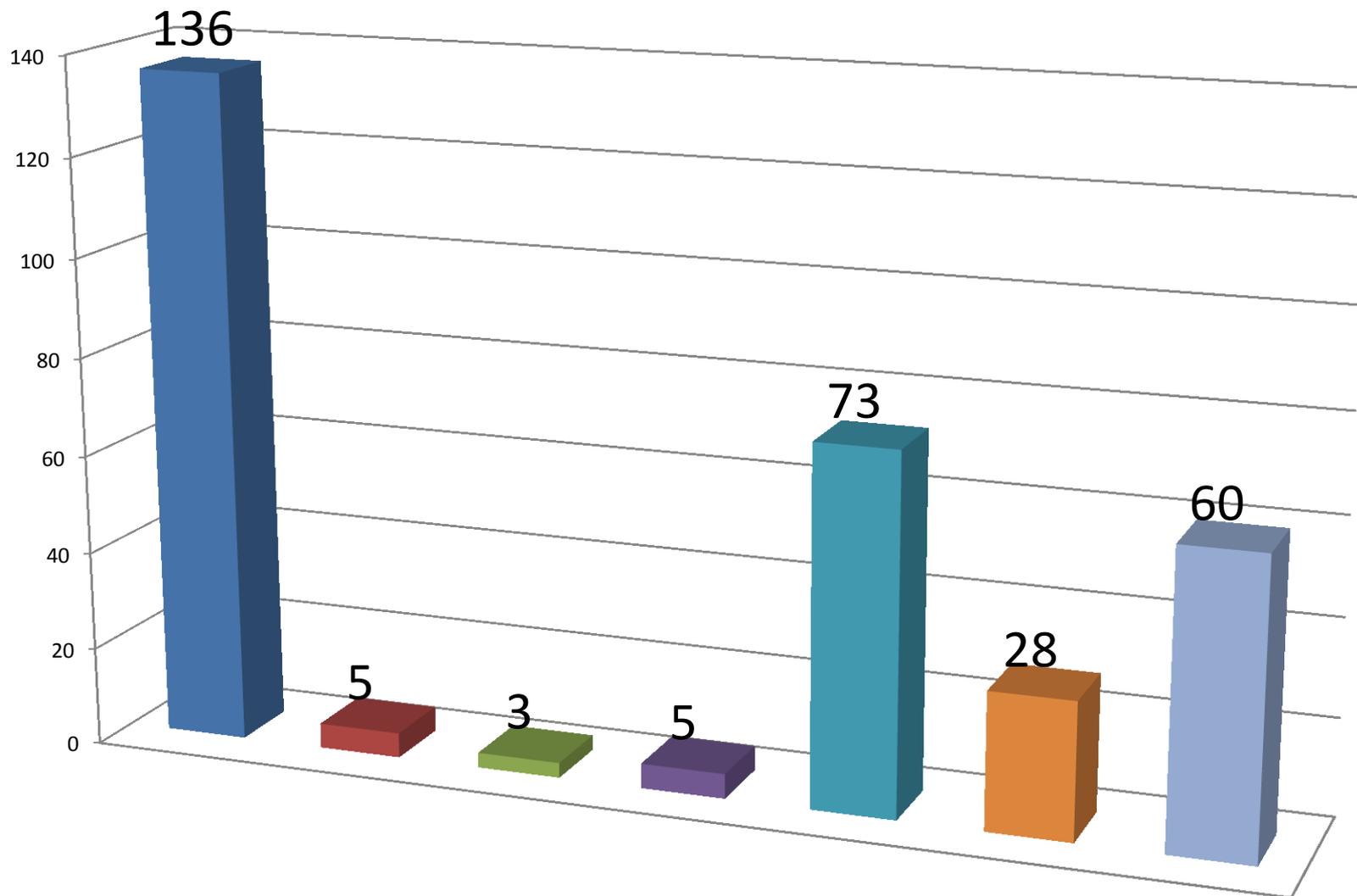
問9④ どれも治療成績は同じだと思いますか？

■ ①そう思う ■ ②そう思わない



問10-1 手術の方法について誰に相談しましたか？

- ① 主治医(治療担当)
- ② 家庭医(かかりつけ医)
- ③ 病院内の相談室
- ④ 看護師
- ⑤ 家族
- ⑥ 友人
- ⑦ インターネット上の相談室

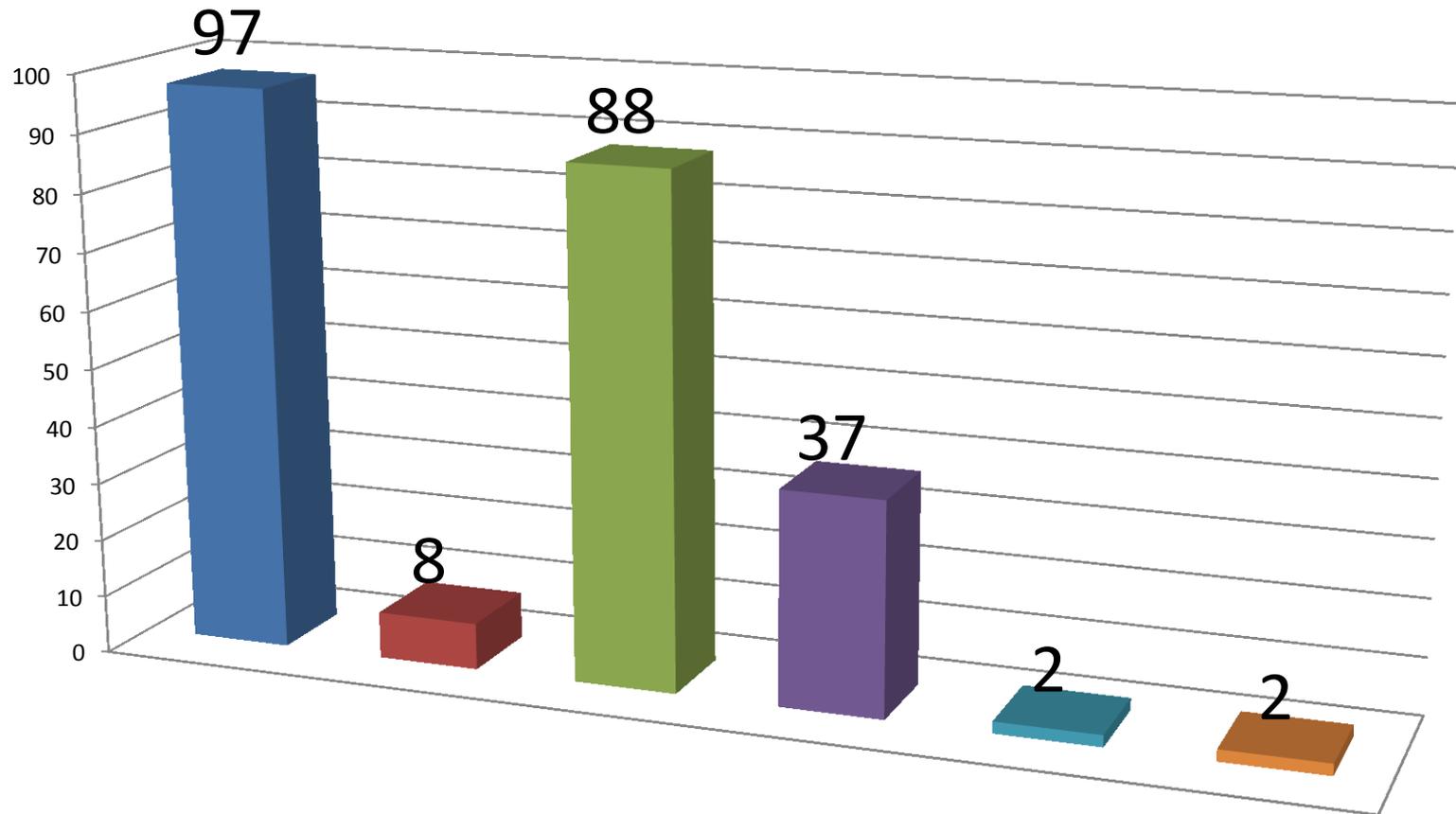


問10-2 問10-1で⑨その他と回答された方に質問です。
その内容をご回答ください。

- 誰にも相談出来なかった
- 悩まなかった
- 親しい他ガンの専門医師
- 乳ガン経験者談
- 最終的には自分自身
- 患者会
- 産業医
- 最善の方法をその時に自分で考えたので決めました

問11-1 手術の方法を決めた最大の要因は何ですか？

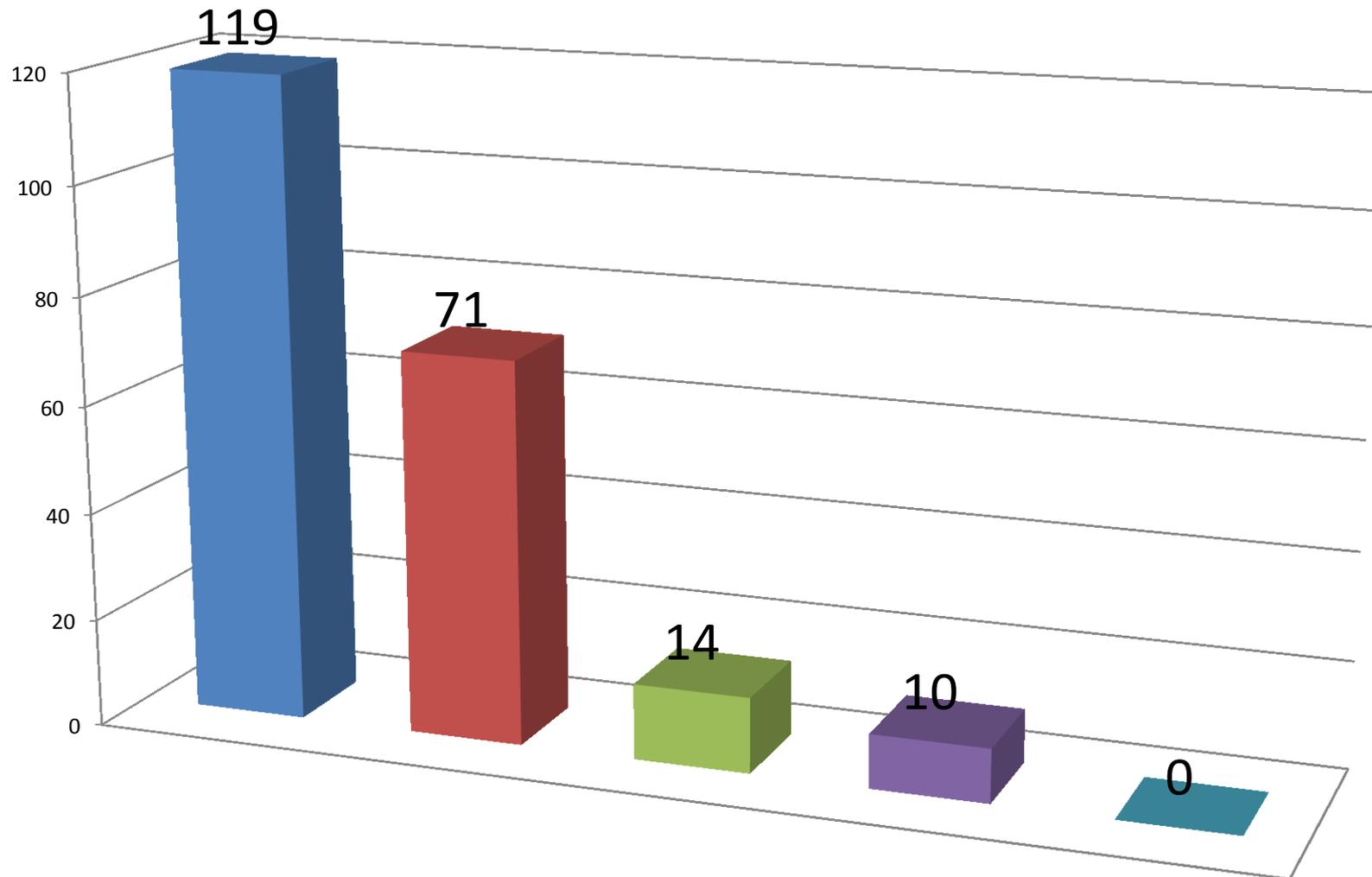
- ① 自分の意志
- ② 家族、友人に相談し、皆が勧める方法。
- ③ 主治医の勧める方法
- ④ 自分の希望を話し、医師の説明を受け、協同作業で。
- ⑤ セカンドオピニオン
- ⑥ その他



【補助療法】

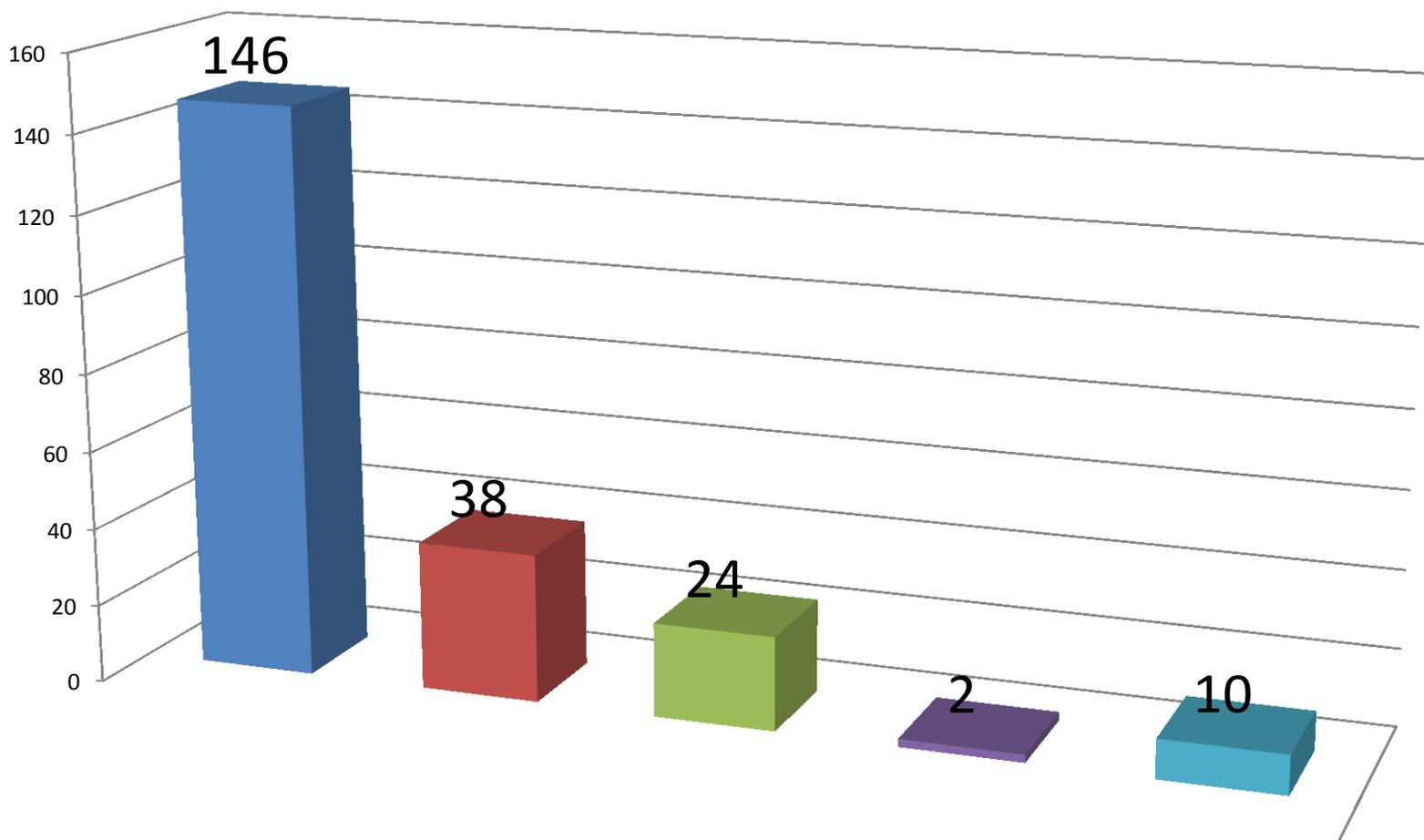
問12 医師は手術後病理検査の結果について？

- ① 詳しく説明してくれた。
- ② 簡単に説明してくれた。
- ③ 自分から聞いたら教えてくれた。
- ④ 説明してもらっていない。
- ⑤ 聞きたくなかった。



問13-1 自分のがんの病理検査の結果について知っていますか？

- ① 組織型、リンパ節転移数、悪性度、サブタイプ(ホルモン感受性やHER2)など詳しく知っている。
- ② リンパ節転移があったか無かったかくらいは知っているが、それ以上詳しいことは知らない。
- ③ 医師は説明してくれたのだが、サブタイプ(ホルモン感受性やHER2)や組織型など難しくよくわからない。
- ④ 知らない。
- ⑤ その他

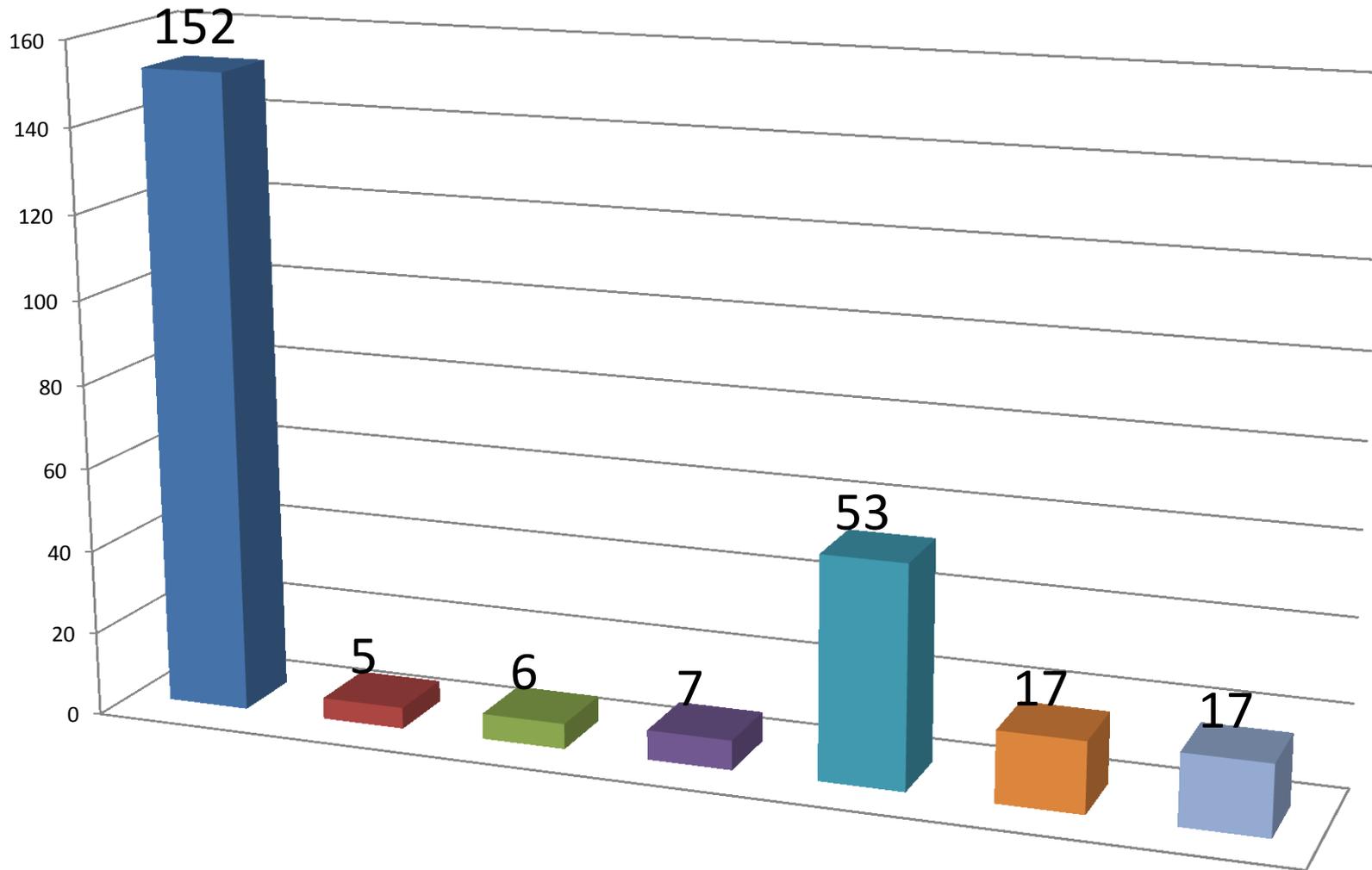


問13-2 問13-1で⑤その他と回答された方に質問です。
その内容をご回答ください。

- 15年前なので、今ほど詳しい情報はありませんでした。当時の知りえる情報は説明してもらったと思います。
- ある程度詳しく、組織型、リンパ節転移数、悪性度、HER2などは説明があったが、もっと詳細なデータすべてを知りたかった
- 診断から手術の期間が短く、本当は自分自身でもっと情報を入れ、調べておきたかった。ホルモン感受性、HER2のこと等。
- 補助療法を決める時は、リンパ転移有無以外結果を知らせてもらえず、急に抗がん剤をどうするか決めるよう言われ、とても困った。私の不勉強のせいでしょうが、せめて簡単な説明か資料が欲しかった。自分の事なので本当は全て知りたい。ずっと後で質問でき大体知ることができたが、無知は不安を呼ぶと思う。

問14-1 化学療法・ホルモン療法・分子標的薬を受けるかを誰に相談しましたか？

- ① 主治医(治療担当)
- ② 家庭医(かかりつけ医)
- ③ 病院内の相談室
- ④ 看護師
- ⑤ 家族
- ⑥ 友人
- ⑦ インターネット上の相談室

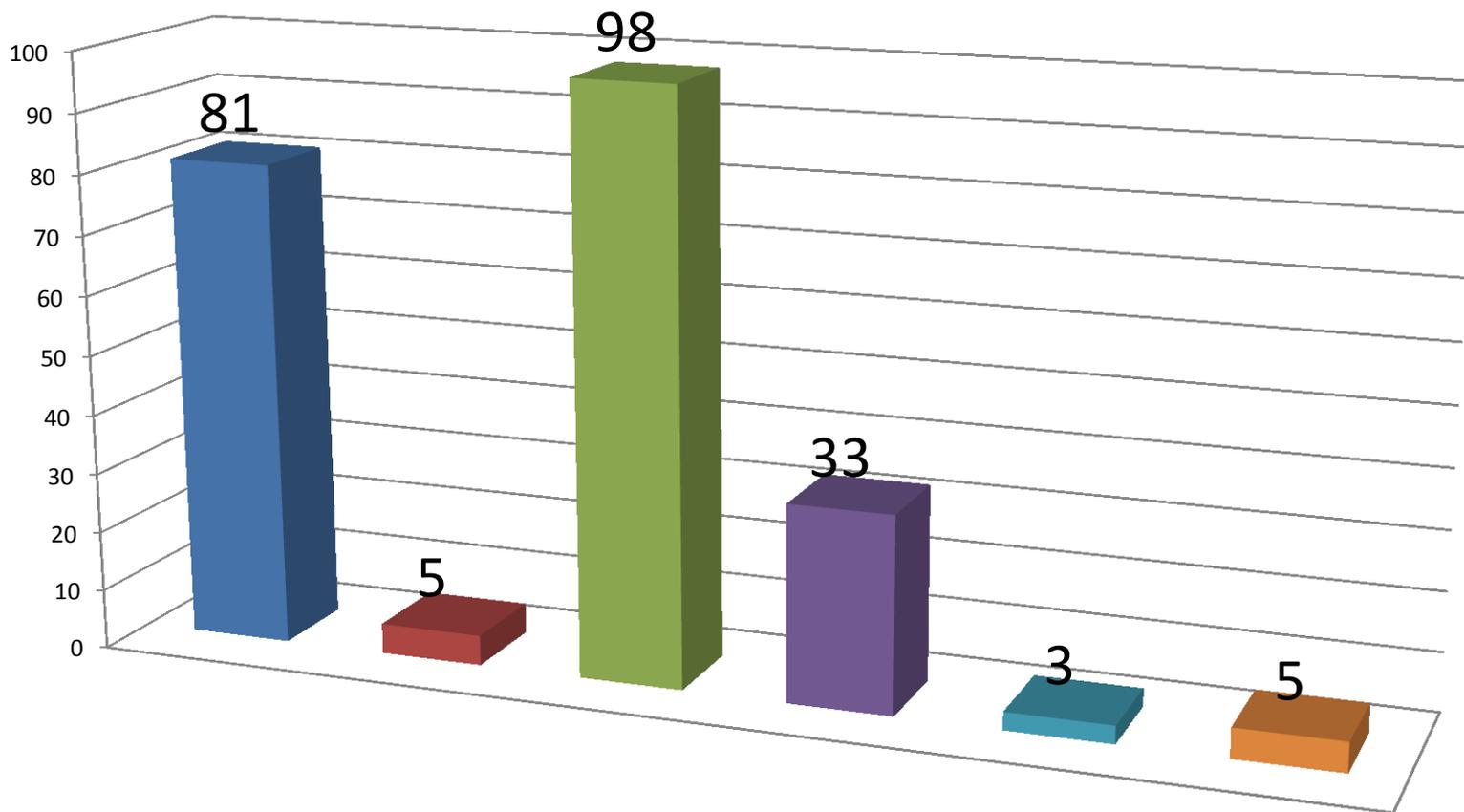


問14-2 問14-1で⑨その他と回答された方に質問です。
その内容をご回答ください。

- 術後、化学療法が必要かどうか、各地で開催している市民講座で、ホルモン療法の専門医師による患者の1人1人の治療相談(先にメールで病状の説明、治療相談)に開場で直接、回答をもらった。(主治医は、病状・治療法等、こちらから聞かないと説明してくれない。不安があったため)
- 職場の人。休暇がとれるのかなど。
- 医師の勧める治療が一番いいはずだと、医師を信頼していた。本を読んでエビデンス通りだと思った。
- 診断から手術までの期間が短く、余り疑問を持たずに主治医のメニューに従い治療した。主治医が信頼できる医師と判断していたので、さほど疑問を持つこともなかった。しかし、乳癌の種類、治療方法などについて、説明が足りなかったのではと、今は思っている。退院後、自分の状態を理解した。

問15-1 化学療法や分子標的治療薬、ホルモン療法を受けるかを決めた最大の要因は？

- ① 自分の意志
- ② 家族、友人に相談し、皆が勧める方法。
- ③ 主治医の勧める方法
- ④ 自分の希望を話し、医師の説明を受け、協同作業で。
- ⑤ セカンドオピニオン
- ⑥ その他

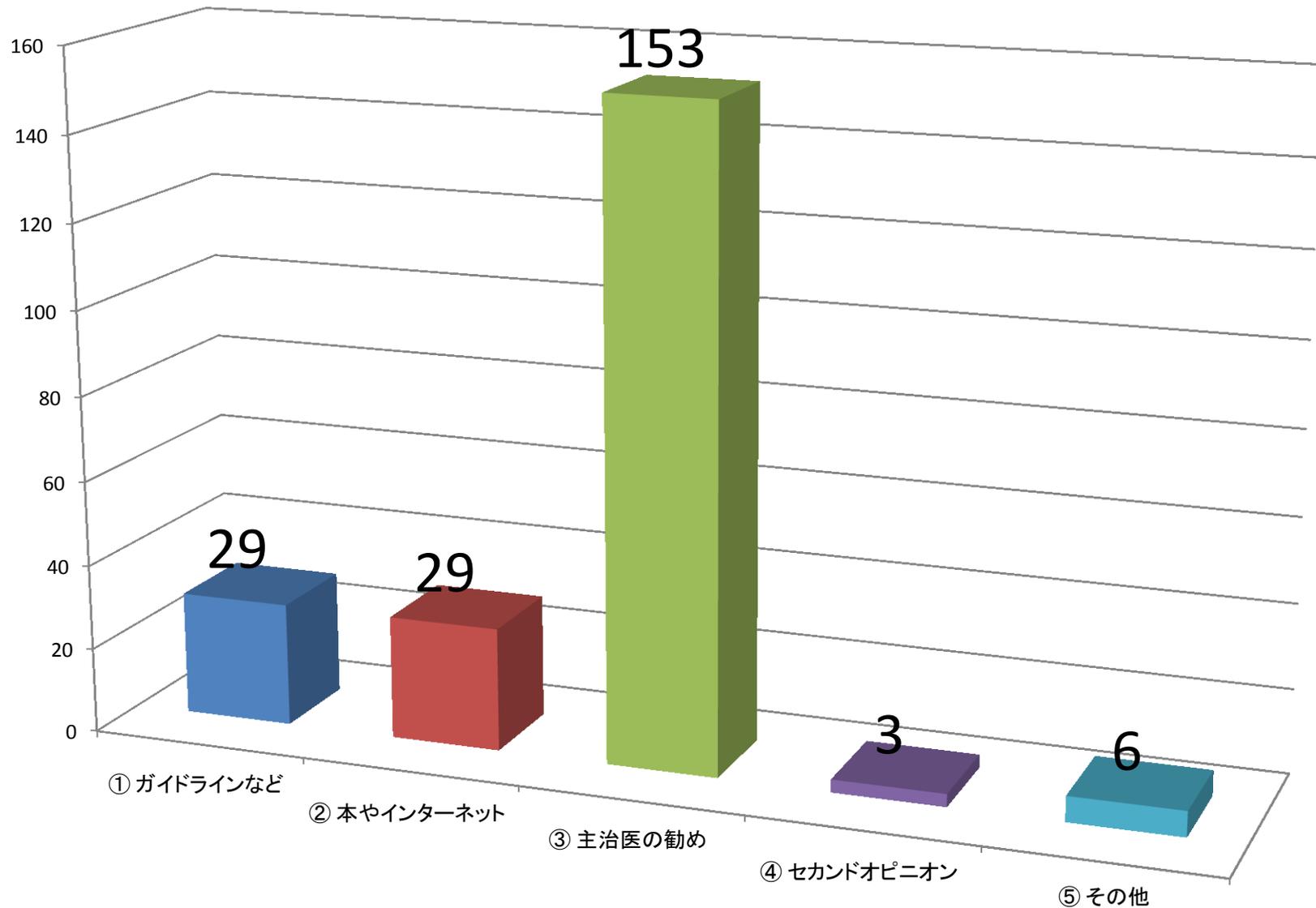


問15-2 問15-1で⑥その他と回答された方に質問です。
その内容をご回答ください。

- オンコタイプDXの検査結果
- 放射線治療、ホルモン療法を受けることには抵抗なく主治医の勧めでもあり、自分の意志でもあったが、化学療法については必要性の判断ができずかなり悩みに悩んだ。最終的に主治医が強く勧めなかったこともあり成り行きで受けなかった。

問16-1 補助療法を決めるとき、何を最も参考にしましたか？

■ ① ガイドラインなど ■ ② 本やインターネット ■ ③ 主治医の勧め ■ ④ セカンドオピニオン ■ ⑤ その他



問16-2 問16-1で⑤その他と回答された方に質問です。
その内容をご回答ください。

- 本、インターネット、ガイドラインなど参考にした後、主治医と話し合った。
- 1～3の情報を総合的に検討して判断

問17-1 補助療法を決める際に、最も重視したのは何ですか？

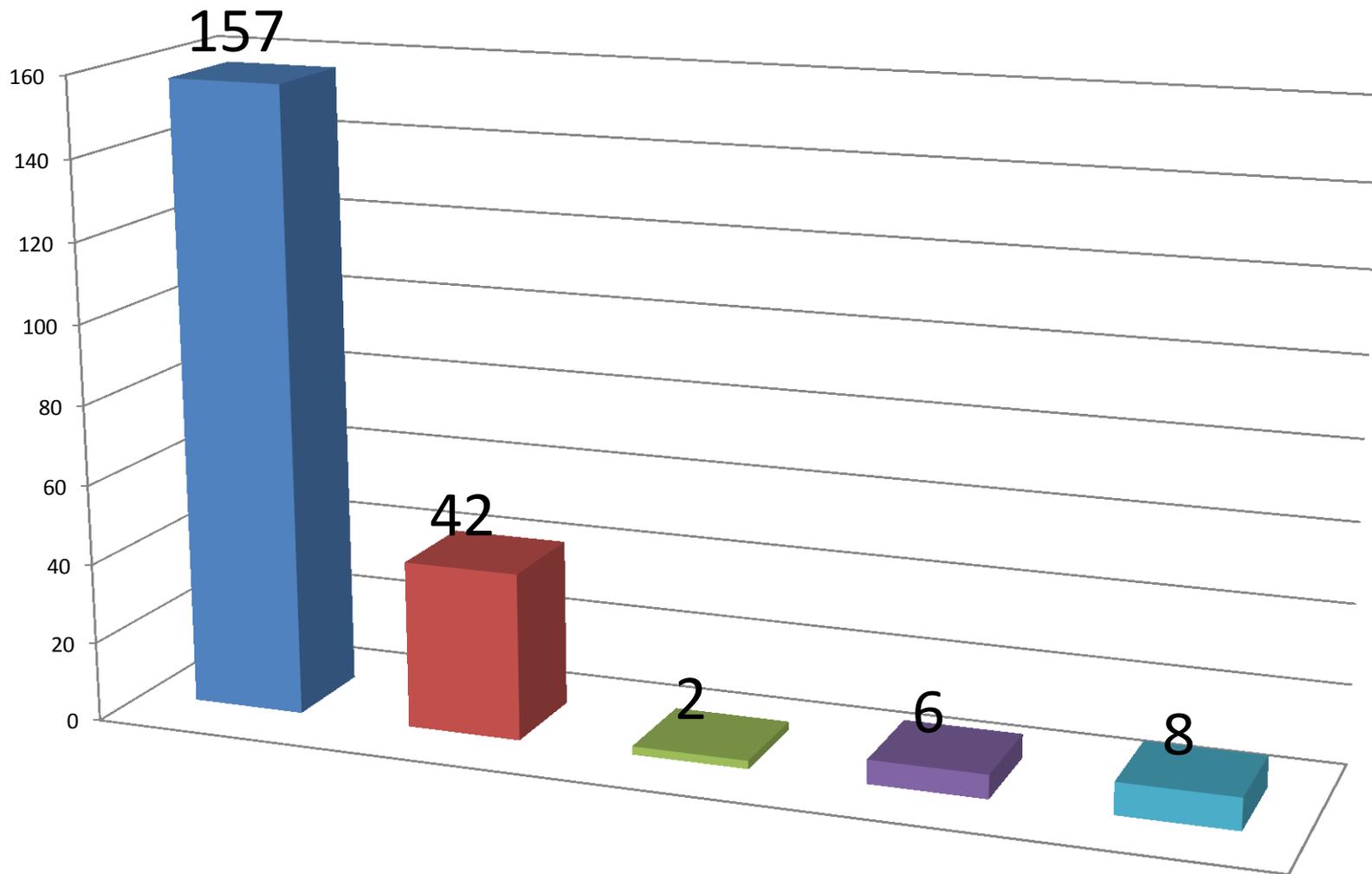
■ ① 治療効果

■ ② 副作用：後遺症を含む日常生活に与える影響度

■ ③ 費用

■ ④ 通院頻度やかかる時間

■ ⑤ その他



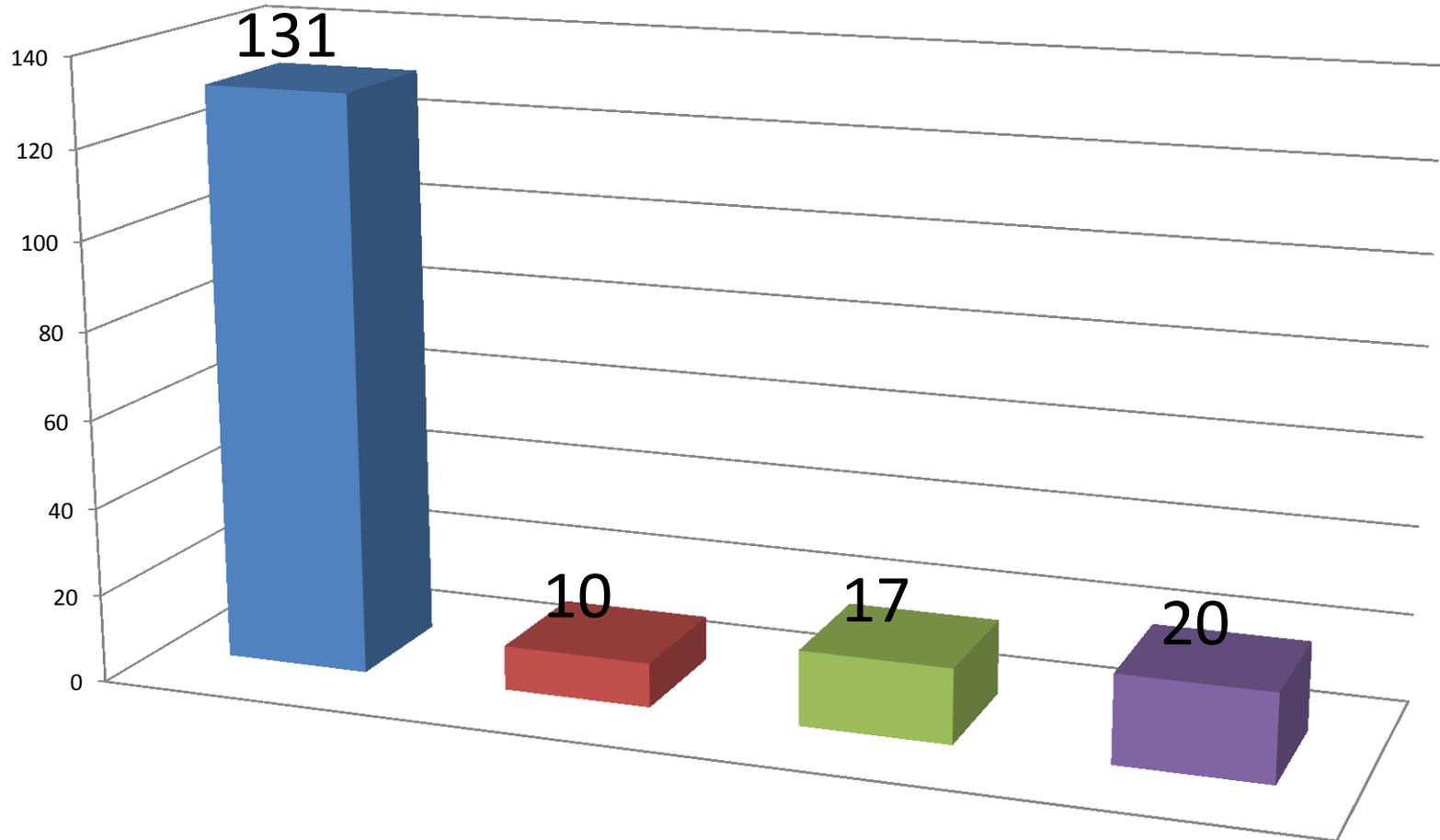
問17-2 問17-1で⑤その他と回答された方に質問です。
その内容を回答ください。

- 何も考える余裕がなかった

【再発】

問18-1 再発治療の印象は？

- ① 自分のがんの性格にあった治療を選択すればよいと思っていた。
- ② つらい治療でないときかないと思っていた。
- ③ 再発は治療しても無意味だと思っていた。
- ④ その他



問18-2 問18-1で④その他と回答された方に質問です。
その内容をご回答ください。

- 再発したら治らない。ただの延命。どんな治療をしても。今の生活、QOLをいかに保ち続けていくかにすぎない。
- エンドレスの治療は先が見えない。
- 再発したら、完治はできないが、治療によって生存期間を延ばすことは可能だと思っていた。
- 再発も早期発見早期治療と思い、頻繁に検査していと考えていたが必ずしもそうでわないと知った。
- 再発は完治しないということなので、覚悟をしなければならない。その時後悔しないように、今から自分らしく生きることしようと思った。
- 再発も初期治療も関係なく、がん＝死と思っていた。
- 今の時代だったら標準治療してもらえたかなと思いました。当時は標準治療という言葉がなかった。
- 再発をしたら自分のがんの性格にあった治療を受ける

問19 現在治療薬、治療方法が日々飛躍的に進歩していることをご存知ですか？

- ① 知っている。期待できていると思っている。
- ② なんとなく聞いているが、あまり期待していない。
- ③ 知らない。

